

HR-S7000

ハイファイ
ビクターステレオ *Hi-Fi* ビデオカセット

取扱説明書



HQ
High Quality



EX
4 HEAD



このたびはHR-S7000を
お買いあげいただき
ありがとうございます。

このHR-S7000は、簡単な操作でどなたにもハイファイビデオがお楽しみいただける、**VHS**方式ステレオHi-Fiビデオカセットです。

HR-S7000の機能をフルに生かすため、この“取扱説明書”をよくお読みいただき末永くご愛用ください。

- ご使用前にこの“取扱説明書”をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかについてお確かめください。

上手に使って上手に節電

HR-S7000の主な特長

驚異の高解像度、高画質映像が楽しめる

「S-VHS方式」

本機は高解像度(水平400本以上)、高画質で記録再生できるS-VHS方式のビデオです。鮮明な映像を従来方式のビデオと同様に手軽にお楽しみいただけます。(詳しくは11~12ページをご覧ください) また、従来のVHS方式での記録再生も可能です。



VHS方式での記録再生も
鮮やかな映像を楽しめる

「HQ技術」

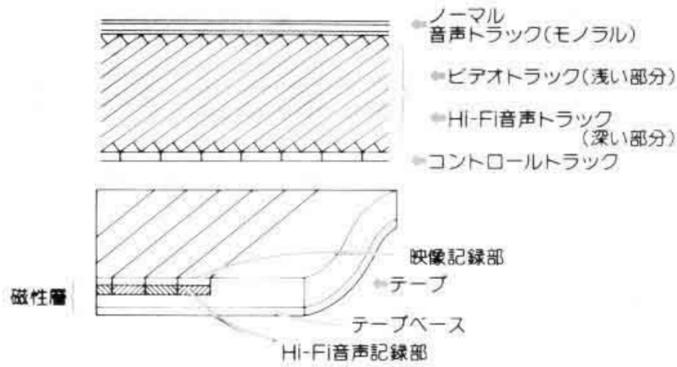


臨場感あふれるサウンドが手軽に楽しめる

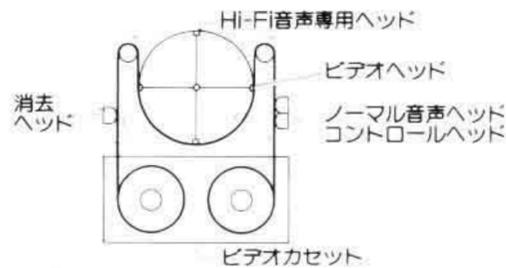
「ステレオHi-Fi VHS方式」

本機はHi-Fi音声専用の回転ヘッドを備えています。このHi-Fi音声専用の回転ヘッドを使って従来映像信号のみを記録していた部分(ビデオトラック)の奥深い磁性層に音声信号を周波数変調(FM)してステレオ(2チャンネル)で記録します。

●記録システム



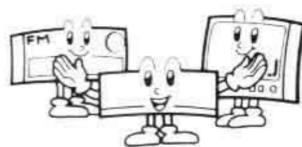
●Hi-Fi音声専用回転ヘッド搭載



テレビ番組の録画と同時に、Hi-Fi音声トラックにFM放送などを記録できる

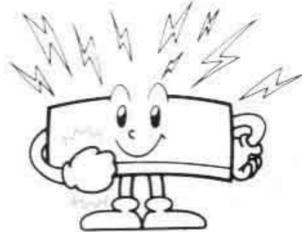
「サイマルキャスト記録」

31ページ



高解像度、ステレオ放送、2ヶ国語放送も美しい音で受信するAV仕様の

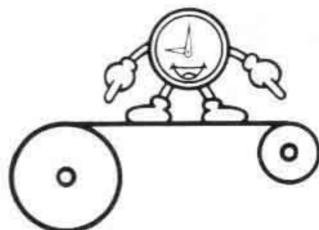
「62局対応周波数シンセサイザーチューナー」



録画・再生でテープの残り時間がわかる

「テープ残量表示」

29ページ



ミュージックビデオなどの
頭出しに便利な

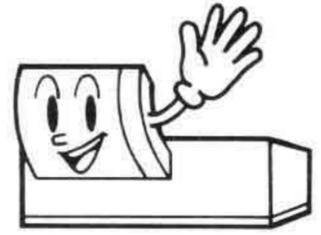
「インデックスコード」VISS

26ページ

見たいシーンを分単位で呼び出せる

「アドレスコード」VASS

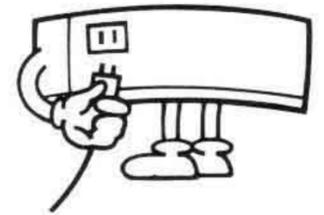
23ページ



FM放送、サイマルキャスト記録などの留守録に便利な

「ACオンライン電源出力端子」

32ページ



2週間以内、最高8つの番組を留守録できる

「2週間8プログラムタイマー」

17ページ



30分単位での録画がワンタッチでできる

「ワンタッチタイマー」

21ページ



「カウンターメモリー」

30ページ

カウンターが0000またはテープの最初から再生を始める

「プレイメモリー」

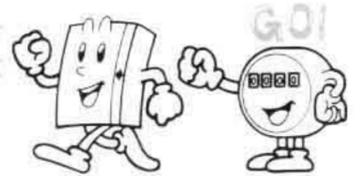
30ページ



好きなシーンを素早く呼び出すなど、テープの頭出しに便利な

「カウンターGO-TO」

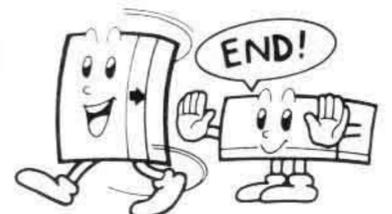
28ページ



録画再生が終わるとテープを自動的に巻戻す

「オートリwind」

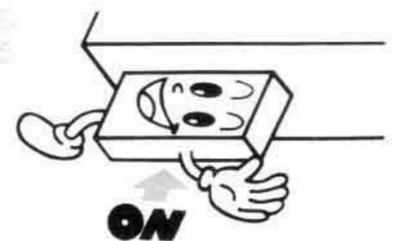
29ページ



電源が「切」になっていてもカセットの出し入れができる

「オートパワーオン」

7ページ



もくじ

基本的な操作	● 各部の名称と働き	1~5
	● ワイヤレスリモコン(付属)について	6
	● カセットの入れかた/出しかた	7
	● 巻戻し/早送りのしかた	8
	● チャンネル選局のしかた	9~10
	● S-VHSモードについて	11~12
	● テレビ番組の録画	13~14
	● 再生のしかた	15
	● いろいろな再生のしかた	16
	● タイマー録画のしかた	17~18
発展した操作	● タイマー録画時の「セット」について	19
	● タイマー録画時のご注意	20
	● ワンタッチタイマー録画のしかた	21~22
	● 便利な使いかた1(デジタルサーチ)	23~27
	● 便利な使いかた2(カウンターGO-TO)	28
	● 便利な使いかた3(カウンター表示/テープ残量表示/オートリワインド機構/ カウンターメモリー/プレイメモリー)	29~30
	● サイマルキャスト記録のしかた	31
	● ACオンラインについて	32
	● カメラ録画のしかた	33~34
	ご自分で設置 するときは	● 接続のしかた(基本型)
● 接続のしかた(高画質システムアップ型)		37~38
● 接続のしかた(システムアップ型)		39
● 時計の合わせかた(現在時刻を合わせる)		40
● チャンネル自動選局について		41~42
その他	● 使用上のご注意	43~44
	● こんなときは	45~46
	● 保証とアフターサービス	47
	● 関連機器	48
	● INSTRUCTIONS IN ENGLISH	49~52
	● 仕様	裏表紙

S VHS 本機HR-S7000は、S-VHS方式のビデオです。
S VHS マークまたは **VHS** マークのついたビデオカセット以外は使用できません。

S VHS または **VHS** 方式で録画するときのビデオカセット

カセット	最長記録時間	
	SP(標準)モード	EP(3倍)モード
ST-120	2時間	6時間
ST-60	1時間	3時間
ST-30	30分	1時間30分

VHS 方式で録画するときのビデオカセット

T-160	2時間40分	8時間
T-140	2時間20分	7時間
T-120	2時間	6時間
T-100	1時間40分	5時間
T-90	1時間30分	4時間30分
T-80	1時間20分	4時間
T-60	1時間	3時間
T-40	40分	2時間
T-30	30分	1時間30分
T-20	20分	1時間

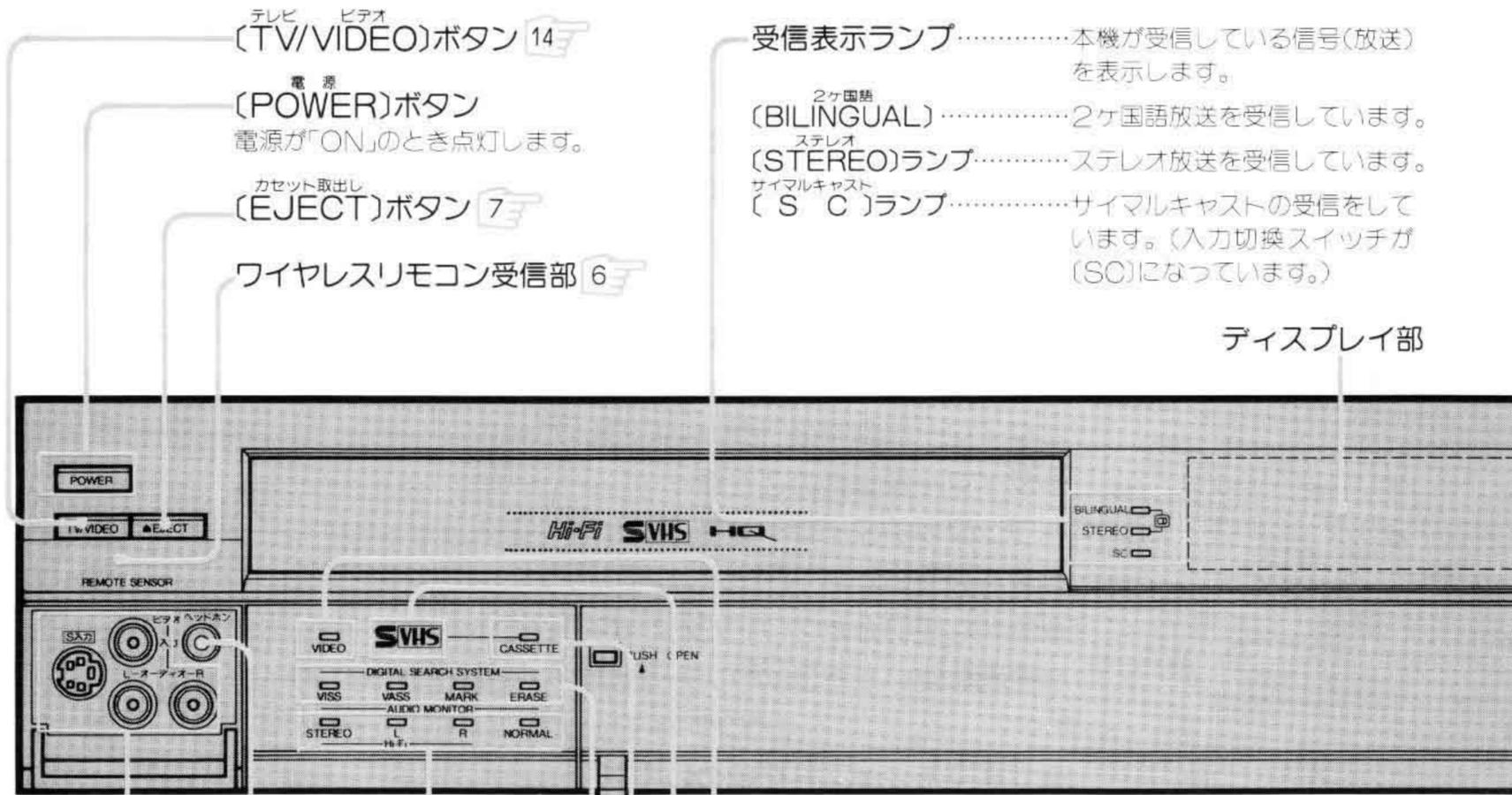
Ⓞ このマークは日本電子機械工業会が定めた音声多重のシンボルマークです。

HQ マークのついたビデオには、VHS高画質技術が採用されています。なお、従来方式のVHSビデオとは互換性があります。

S VHS マークのついたビデオは **S VHS** マークのついたビデオカセットを使って高画質記録再生ができるとともに、**VHS** マークのついたカセットでも従来通り記録再生が楽しめます。

- 本機のS-VHSモードで録画したビデオカセットは、従来のVHSビデオでは再生できませんのでご注意ください。
- 本機の3倍モードで録画したビデオカセットは、標準モード専用のVHSビデオでは再生できませんので、ご注意ください。
- 万一本機およびビデオカメラ、ビデオカセットテープ等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切な録画(結婚式など)の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画(録音)されていることを確かめてください。
- あなたがビデオテープレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

各部の名称と働き(前面) 内は参照ページ数です。



テレビ ビデオ
〔TV/VIDEO〕ボタン 14

電源
〔POWER〕ボタン
電源が「ON」のとき点灯します。

カセット 取出し
〔EJECT〕ボタン 7

ワイヤレスリモコン受信部 6

受信表示ランプ……………本機が受信している信号(放送)を表示します。

2ヶ国語
〔BILINGUAL〕……………2ヶ国語放送を受信しています。

ステレオ
〔STEREO〕ランプ……………ステレオ放送を受信しています。

サイマルキャスト
〔S・C〕ランプ……………サイマルキャストの受信をしています。(入力切換スイッチが〔SC〕になっています)

ディスプレイ部

ビデオ
〔VIDEO〕ランプ

背面アンテナ(RF出力)端子からビデオ信号を出力しているとき点灯します。

SVHS 表示 7

S-VHSモードで録画/再生するときに点灯します。

SVHS マークのついたビデオカセットを入れると自動的に点灯します。また、S-VHSモードで録画したテープを再生するときは自動的に点灯します。

カセット
〔CASSETTE〕ランプ 7

SVHSマークのついたビデオカセットを入れると点灯します。

デジタルサーチ表示ランプ 23 ~ 27

出力音声表示ランプ

音声出力切換ボタンとノーマル音声ミックススイッチで選んだ音声状態を表示します。

「Hi-Fi STEREO」……ステレオまたは主(日本語)音声+副ランプ (外国語)音声

「Hi-Fi L」ランプ……………L(左)音声または主(日本語)音声

「Hi-Fi R」ランプ……………R(右)音声または副(外国語)音声

「NORMAL」ランプ……ノーマル音声(または、ノーマル音声ミックススイッチが「入」の時、常時点灯)

ヘッドホン端子 39

前面入力端子 33 34 38

他のAV機器のビデオ/オーディオ端子と接続して、本機で録画/録音することができます。

S入力端子とビデオ入力端子についてはどちらかを選択して使用してください。前面入力端子を使用している間、背面入力端子は動作しませんのでご注意ください。

記録時には入力切換スイッチを「外部」にしてください。

S入力端子(映像)について

S出力端子付ビデオのS出力端子(映像)と接続します。映像信号のロスが少なく、より美しい映像でダビング(テープコピー)できます。



〔ディスプレイ部〕



〔操作モード表示〕

本機は、サイン表示で操作状態をディスプレイ部で確認できます。以下のサインはそれぞれ次の状態を示します。

録 画	録画一時停止	再 生	静止画再生	シャトルサーチ	
				(早送り再生)	(巻戻し再生)
スロ ー	早 送 り	巻 戻 し	カウント検索中		

各部の名称と働き(前面)(扉内)

本機で音声多重放送を録画すると音声は自動的に下記のように記録されます。

	ノーマル音声トラック	Hi-Fi音声トラック	
		L	R
ステレオ放送	L+R混合	ステレオ	
2ヶ国語放送	主(日本語)	主	副
通常放送	モノラル	モノラル	

音声出力切換ボタン 13 15

本機にはノーマル音声とHi-Fi音声があり、録画時の音声モニターや再生時に聴きたい音声を選びます。このボタンを押す度に再生する音声は下のように変わります。

電源を「ON」にした時点では(Hi-Fi音声)……ステレオ(2ヶ国語)で録音されている場合は、主(日本語)音声と副(外国語)音声を同時に再生します。

- 1度押すと(Hi-Fi音声)……L(左)音声(ステレオで録音されている場合)
主(日本語)音声(2ヶ国語で録音されている場合)
- 2度押すと(Hi-Fi音声)……R(右)音声(ステレオで録音されている場合)
副(外国語)音声(2ヶ国語で録音されている場合)

- 3度押すと(ノーマル音声)……ノーマル音声のみ(2ヶ国語放送を録画した場合は日本語音声を再生)
- 4度押すと(Hi-Fi音声)……ステレオに戻ります。

*Hi-Fi音声の入っていないテープを再生すると、自動的にノーマル音声に変わります。

デジタルサーチシステム 23 ~ 27

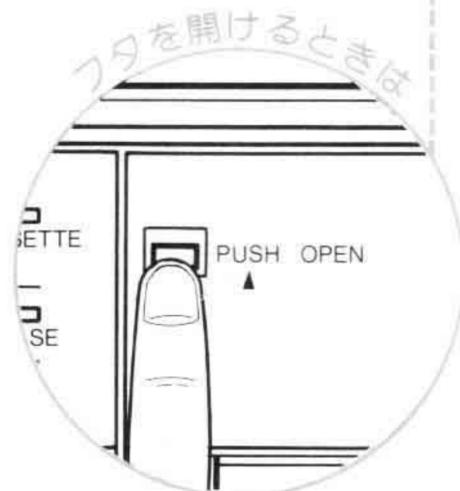
(VISS)ボタン
インデックスコードを使用するときに押します。

(VASS)ボタン
アドレスコードを使用するときに押します。

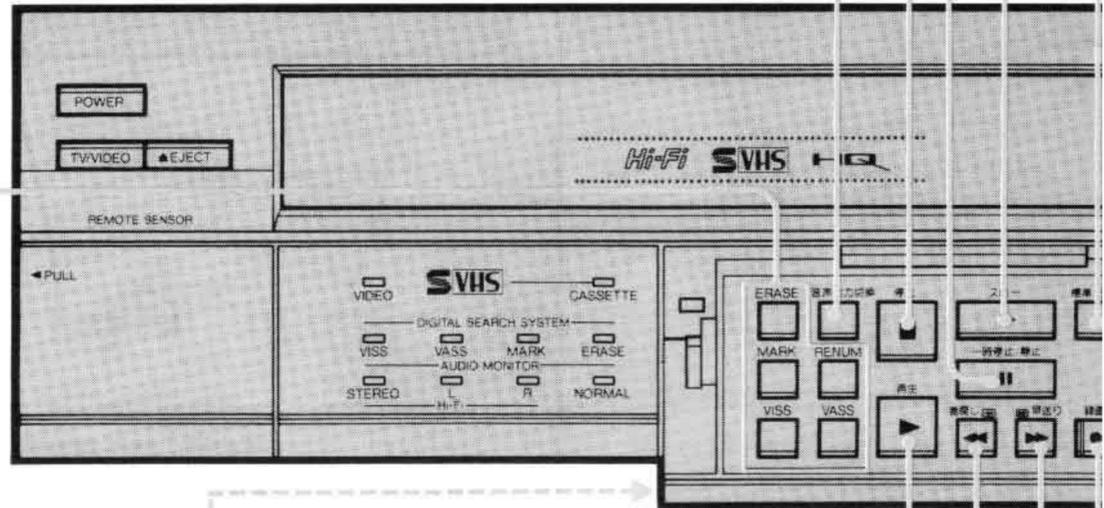
(MARK)ボタン
インデックスコード/アドレスコードをマークします。

(ERASE)ボタン
インデックスコード/アドレスコードを消去します。

(RENUM)ボタン
アドレスコードを書き換えることができます。



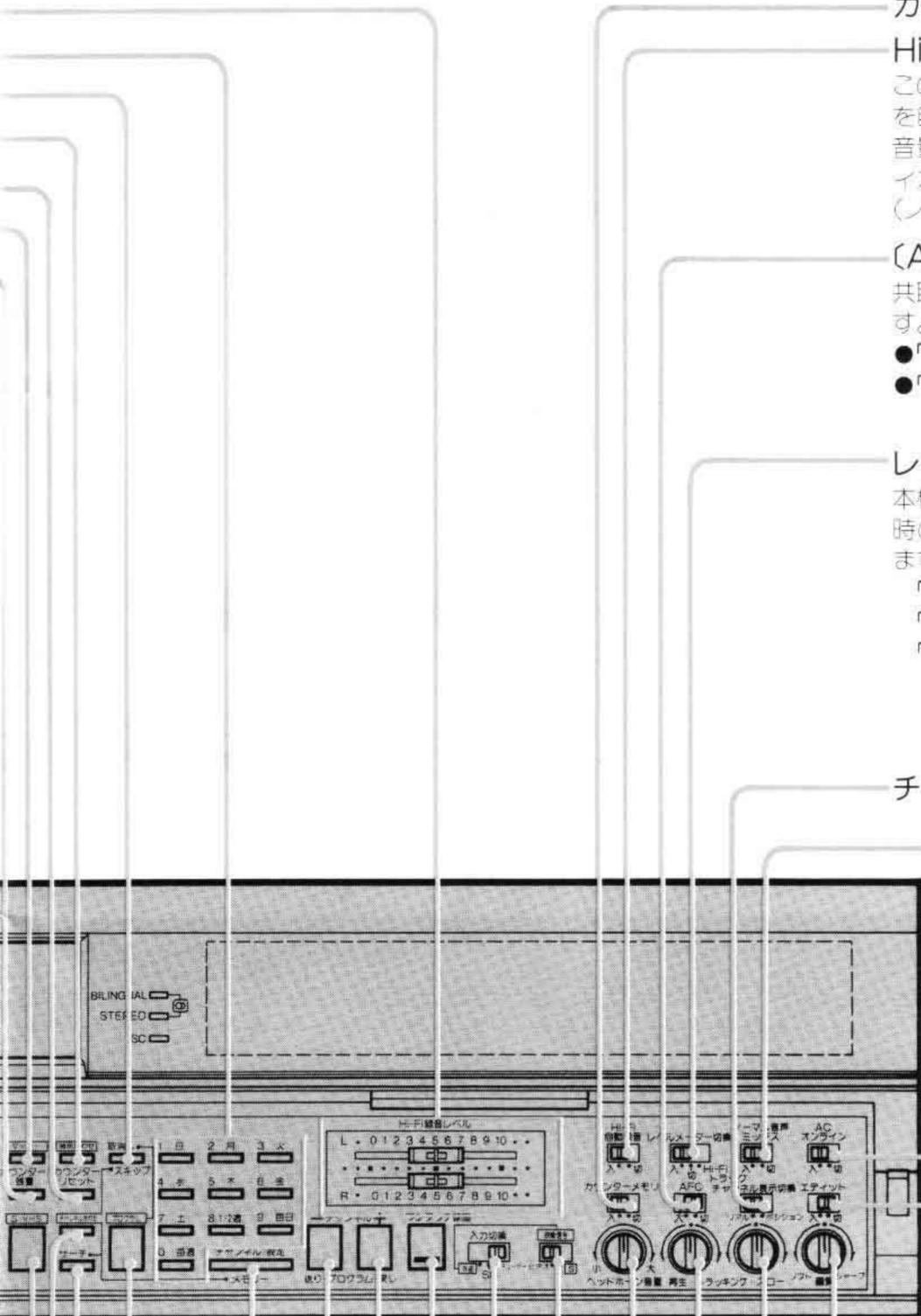
- オーディオHi-Fi録音レベルボリューム 14
- ダイレクトボタン 9
- 取消し/スキップボタン 10
- 時刻合わせ(微調整-)ボタン 40 41
- カウンターリセットボタン 29
- タイマーボタン 17
- カウンター/残量ボタン 29
- 標準/3倍ボタン 13
- スローボタン 16
- 一時停止/静止ボタン 13 16
- 停止ボタン 13



- 再生ボタン 15
- 巻戻しボタン 16
- 早送りボタン 16
- 録画ボタン 14
- S-VHSボタン 17

録画時にS-VHSモードまたはVHSモードを選択するボタンです。S-VHSマークのついたビデオテープを使用しているときは、S-VHS表示を点灯させてS-VHSモードで録画できます。また、VHSモードで録画したいときはこのボタンを押して、S-VHS表示を消してください。従来のVHSカセットでは、S-VHSモードでの録画はできません。

- チャンネル合わせボタン 10 41
- サーチボタン 41
- プログラム(微調整+)ボタン 17 41



カウンターメモリースイッチ 30

Hi-Fi自動録音スイッチ 14

このボタンを「入」にしておくと、Hi-Fi音声の録音レベルを自動調整し適正な音量で記録します。手動でお好みの音量で録音したいときはこのボタンを「切」にしてオーディオHi-Fi録音レベルボリュームで調整します。(ノーマル音声の録音レベルは、常に自動調整されます。)

(AFC)スイッチ 41

共聴などで周波数がわずかにずれているときに補正します。通常は「切」にしてください。

- 「切」……通常に放送を受信しているとき
- 「入」……有線TV/テレビゲーム/パソコンなどから信号を入力しているとき

レベルメーター切換スイッチ 14 15

本機のレベルメーターは、Hi-Fi音声の録音レベルと再生時のトラッキング状態を切り換えて表示することができます。

- 「入」……Hi-Fi音声の録音レベルを表示します。
- 「切」……表示しません。
- 「Hi-Fi
トラック」……再生時のトラッキング状態を表示します。
(ハイファイ音声記録されているときのみ、表示します)

チャンネル表示切換スイッチ 9 41

ノーマル音声ミックススイッチ 15

Hi-Fi音声にノーマル音声をミックス再生するかしないかを選択します。

- 「入」……ノーマル音声をミックス再生します。
- 「切」……ノーマル音声をミックス再生しません。
- ※通常は「切」にしてHi-Fi音声のみにしてください。

ACオンラインスイッチ 32

エディットスイッチ 36

ダビング時は「入」、通常は「切」にします。

画質調整つまみ 15

スロートラッキングつまみ 16

再生トラッキングつまみ 15

ヘッドホン音量つまみ 39

映像信号スイッチ 12

前面/背面入力端子を使用するとき、S入力信号またはビデオ入力信号を選択します。

- S……S入力端子を使用します。
- ビデオ……前面または背面のビデオ入力端子を使用します。

入力切換スイッチ

本機が受信する信号を選びます。

- 「外部」……前面/背面入力端子(ビデオ/オーディオ)に接続した機器の信号を受信します。
- 「SC」……サイマルキャスト記録時の受信を行ないます。
- 「チューナー」……テレビ放送を受信します。

ワンタッチ(タイマー)録画ボタン 21

チャンネル選局プラス/プログラム戻しボタン 9

チャンネル選局マイナス/プログラム送りボタン 9

チャンネル/設定・メモリーボタン 9 42

各部の名称と働き(背面)

内は参照ページ数です。

出力端子 36 ~ 39

AV入力端子付きテレビと接続するときは、オーディオ/ビデオ入力端子に接続します。また、自作のビデオソフトをもう1本作りたとき(テープのコピーを行なうとき)は、もう1つのビデオデッキの入力端子に接続します。

電源出力端子 32

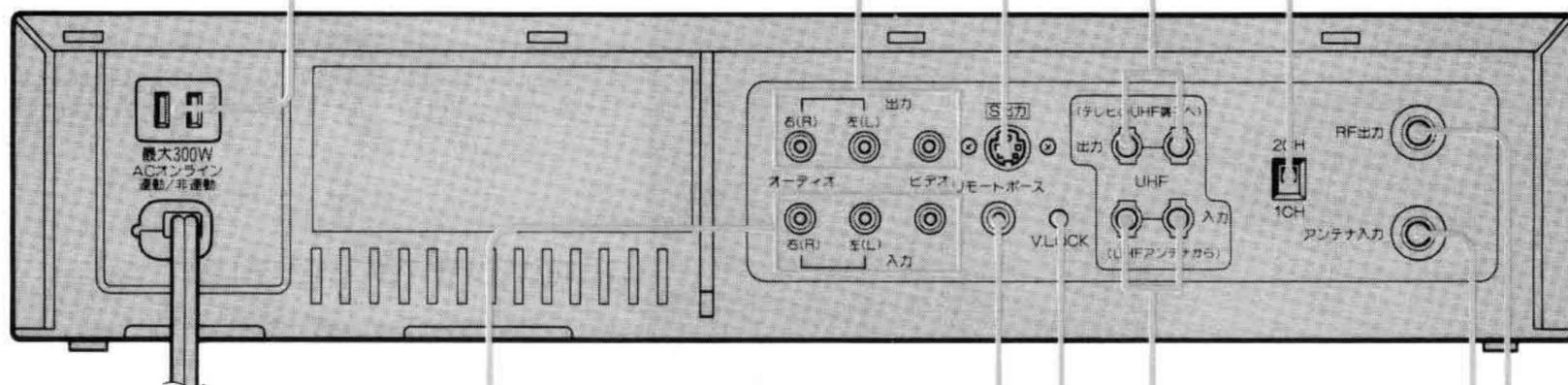
ACオンラインスイッチにより、本機内蔵タイマーと「連動/非連動」を切り換えることができます。「ACオンラインについて」32ページをご覧ください。

S出力端子(映像) 37 38

S入力端子付テレビのS入力端子(映像)と接続します。ダビング(テープコピー)時はS入力端子付ビデオ(録画側)のS入力端子(映像)と接続します。

UHF出力端子 36

RFコンバーターチャンネル 35



背面入力端子 36 ~ 39

外部機器のビデオ/オーディオ端子を接続して本機で録画/録音することができます。

サイマルキャスト記録時、オーディオ録音時のオーディオ機器のオーディオ出力端子、本機を録画側としたコピーを行なうとき、他のビデオ機器のビデオ/オーディオ出力端子をそれぞれ接続します。

記録時には入力切換スイッチを「外部」または「SC」にしてください。

ご注意

前面入力端子を使用していると、背面入力端子を使つての録画/録音ができません。コードを外してください。
映像信号スイッチが「S」になっていると、このビデオ入力端子が使用できません。「ビデオ」にしてください。

リモートボース端子 33

V.LOCK調整穴 16

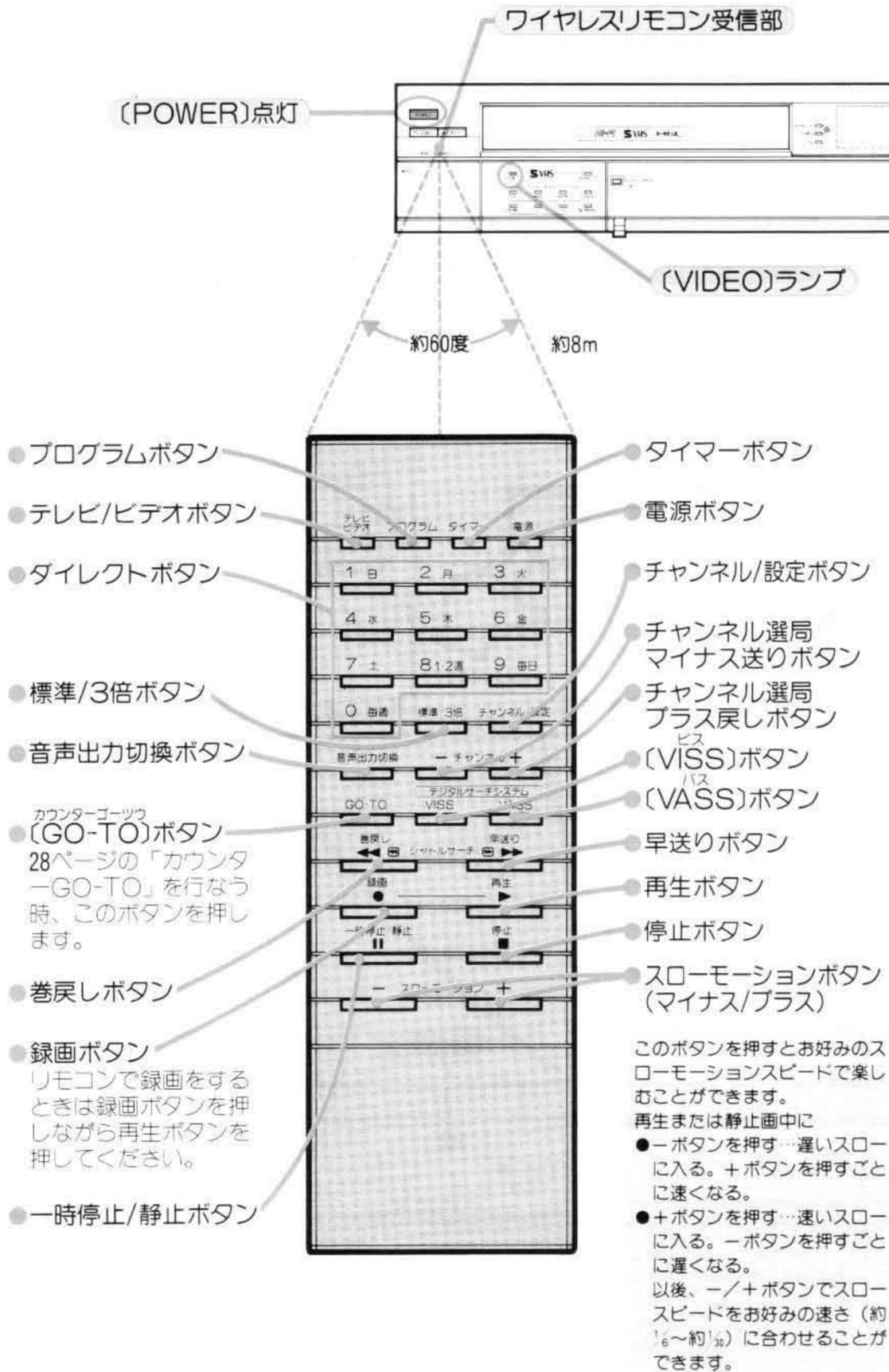
静止画再生時(「いろいろな再生のしかた」16ページ)に画面が上下にブレるとき、マイナスドライバーで調整してください。

UHF入力端子 36

VHFアンテナ入力端子 36

VHFアンテナ(RF)出力端子 36

ワイヤレスリモコン(付属)について



ワイヤレスリモコンは

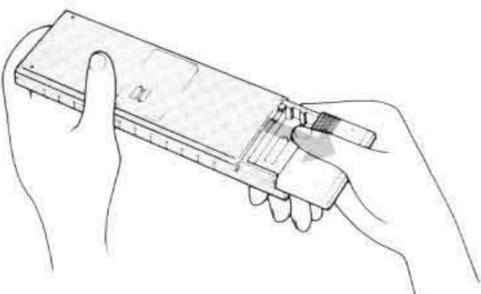
- 落としたり、強いショックをあたえないでください。
- 内部に水など液体がこぼれないよう注意してください。
- 重いものをのせたり、ふんだりしないでください。
- 直射日光のあたる所や暖房器のそばなど温度のあがる場所にはおかないでください。

乾電池について

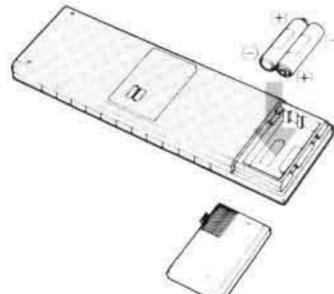
- ★リモコン操作ができる距離が短くなってきたら電池が消耗してきています。新しい電池に交換してください。
- ★リモコンには単四乾電池(UM-4)型をご使用ください。乾電池の誤った使いかたをしますと、「液もれ」や「破裂」する危険がありますので、次のことにご注意ください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがありますから、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、火の中に投入しないでください。
- 長時間ご使用にならない時は、乾電池の「液もれ」が原因で故障になる場合がありますので、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の入れかた

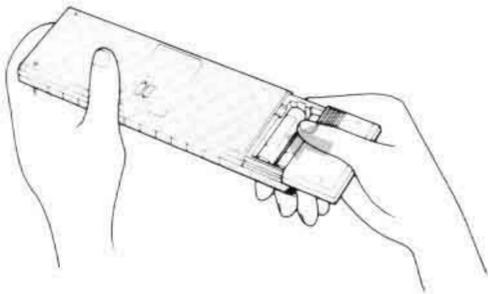
1 裏側のフタを手前にスライドさせてはずす



2 乾電池(単四2個)を正しく図のようにして入れる



3 カチッと音がするまでフタを押しこむ



巻戻し/早送りのしかた

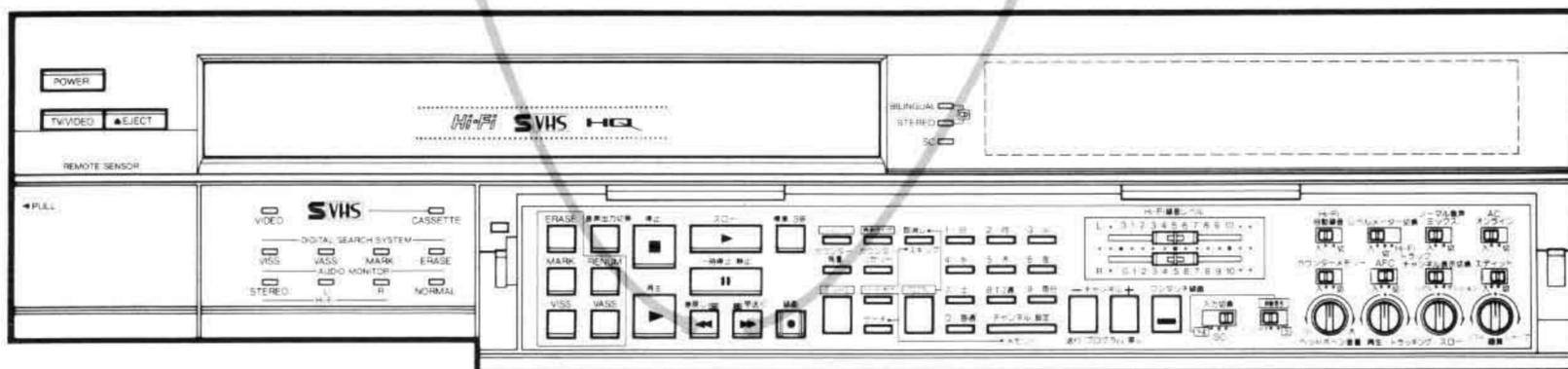
巻戻しのしかた

巻戻しボタンを押す



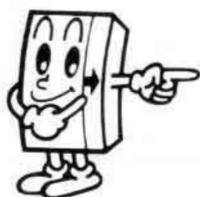
早送りのしかた

早送りボタンを押す



カセットについて

矢印に従って入れてください



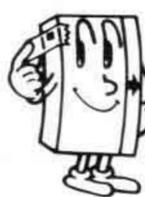
うら返しでは入りません



録画するときはツメのついたカセットをご使用ください



ツメのとれたカセットで録画するときはセロハンテープを2重にはってください



カセットが入っているときは  表示が点灯します



再生中に巻戻し/早送りボタンを押すとシャトルサーチ再生になります。テープを巻戻し、早送りするときは停止ボタンを押してから、おこなってください。

- 放送しているチャンネル数がわからない
- お使いのカラーテレビと同じ受信チャンネル配置にしたい

41~42ページの「チャンネル自動選局について」をご覧ください。

チャンネルのスキップ(飛ばす)について

チャンネル選局プラス/マイナスボタンには1ch~12chが記憶してありますが、使わない(受信していない)チャンネルを取消し/スキップボタンを使用してスキップ(飛ばして選局)することができます。たとえば…(1ch→2ch→3ch→4ch…)と記憶されているとき、2chをスキップすると(1ch→3ch→4ch…)とチャンネル選局できます。

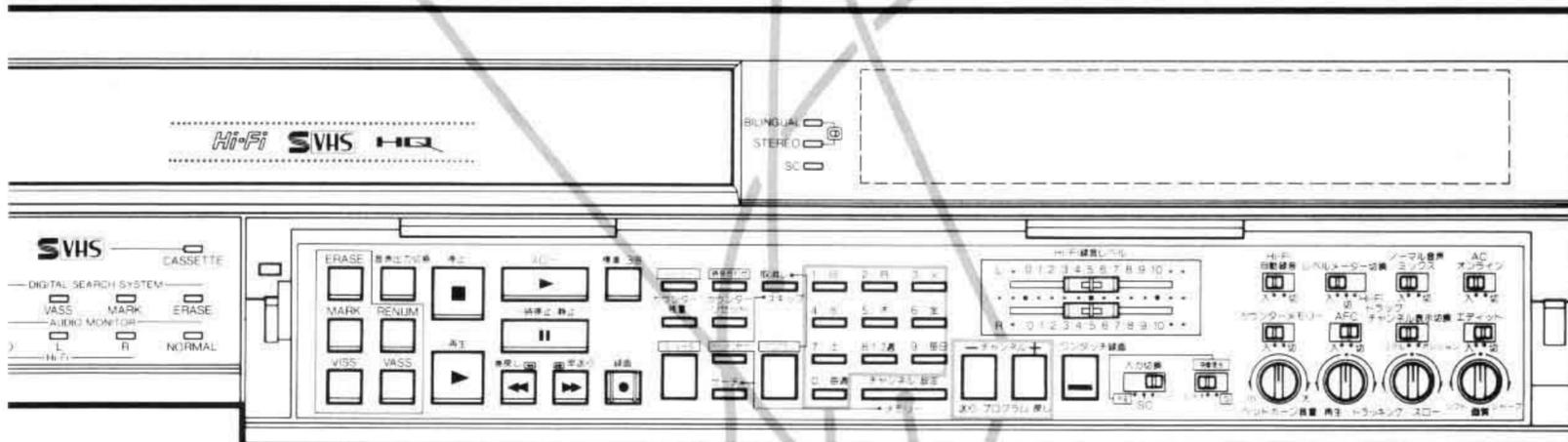
1 チャンネル合わせボタンを押す

2 チャンネル選局プラス/マイナスボタンでスキップしたいチャンネル数に合わせ、取消し/スキップボタンを押す

点滅しているときはすでにスキップされています

3 スキップがすべて終わったらチャンネル合わせボタンを押す

- これでスキップ完了です。次回からチャンネル選局プラス/マイナスボタンを押してもこのチャンネルは表示しません。



チャンネルの登録について

チャンネル選局プラス/マイナスボタンに記憶されていないチャンネル(13ch~62ch)またはスキップしたチャンネルを再び登録することができます。

1 チャンネル合わせボタンを押す

2 チャンネル選局プラス/マイナスボタンまたはダイレクトボタンで登録したいチャンネル数をセットする

点灯しているときはすでに登録されています

3 チャンネル/設定・メモリーボタンを押す

4 登録がすべて終わったらチャンネル合わせボタンを押す

- これで登録完了です。次回からこのチャンネルはチャンネル選局プラス/マイナスボタンで操作できます。

S-VHSモードについて

本機は **VHS** 方式を大きく発展させた映像記録方式、 **S-VHS** 方式を採用したビデオです。

S-VHSとは

S-VHSは、かつてないほどの高解像度、高画質を実現したビデオの新しいシステムです。情感溢れるキメ細やかな、彩り鮮やかな映像を手軽にお楽しみいただけます。



S-VHSビデオカセットについて

S-VHSの高解像度、高画質を生かして録画/再生するために **S-VHS** マークのビデオカセットをご使用ください。
(従来のVHSビデオにもご使用できます)

S-VHS ビデオカセット



ST-120/ST-60/ST-30

S-VHSモードの表示について

S-VHSモードに関連して以下のランプが表示されます。

S-VHS 表示

S-VHSモードで録画/再生できる状態であることを知らせる表示です。録画時はこの表示を点灯させてください。また、このランプの点灯/消灯はS-VHSボタンでできます。

S-VHS マークのついていないビデオカセットではS-VHS録画はできません。

カセット (CASSETTE)ランプ

ビデオカセットの種類を表示します。**S-VHS** マークのついたビデオカセットを入れると点灯します。

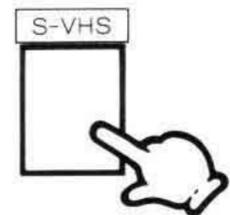


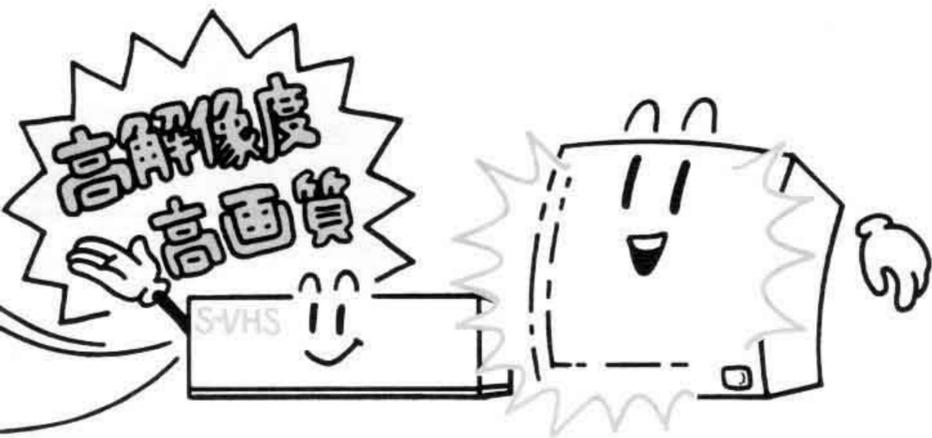
S-VHSボタンについて

S-VHSモードとVHSモードの切り換えを行なうボタンです。録画時のみ動作し、再生時は操作できません。このボタンを押すたびに **S-VHS** ランプが点灯/消灯を繰り返します。

S-VHSモードで録画したいとき…………… **S-VHS** 表示を点灯
VHSモードで録画したいとき…………… **S-VHS** 表示を消灯

※再生時の映像モード(S-VHS/VHS)は自動的にセットされますので、S-VHSボタンの操作は必要ありません。



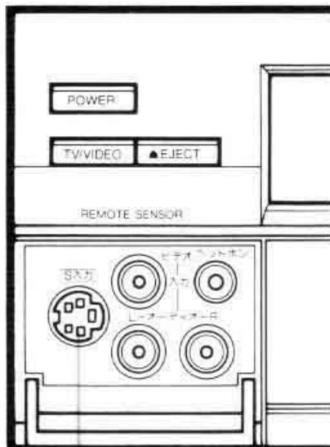


S入/出力端子について

S入/出力端子は映像信号のYC(輝度信号・色信号)のセパレート信号端子です。

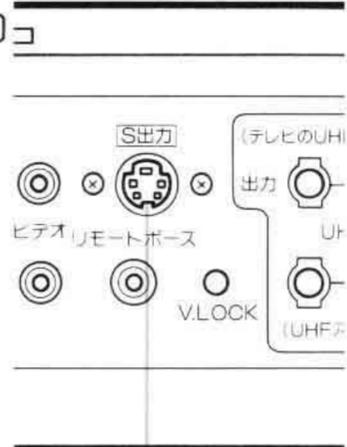
S-VHSモードでの録画/再生時の接続には、S入/出力端子をご利用になることをお勧めします。映像信号をロスなく伝え、より美しい映像で録画/再生ができます。

(前面)



S入力端子
(扉内)

(背面)



S出力端子

1. S出力端子の使いかた

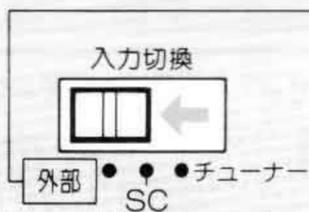
S出力端子は、オーディオ出力端子とセットで使用します。S入力端子付ビデオと接続してのダビング時などに使用してください。音声信号はオーディオ出力端子から出力します。

2. S入力端子の使いかた

S入力端子は、前面入力端子のオーディオ入力端子とセットで使用します。映像信号はS入力端子から、音声信号はオーディオ入力端子から入力し録画/録音します。S入力端子使用中はビデオ入力端子は使用できません。

S入力端子を使うときは……

- 1 入力切換スイッチが「外部」になっているのを確かめます。(これで入力端子が動作します)



- 2 映像信号スイッチを「S」にします。(これでS入力端子からの信号が録画できます)



テレビ番組の録画

テレビで放送された番組を本機で録画して、お好きな時間にお楽しみください。

Hi-Fi音声トラックとノーマル音声トラックにテレビ番組の音声記録されます。ビデオトラックにはテレビ番組の映像が記録されます。ノーマル音声トラックはモノラル(主音声)です。

S-VHSモードで録画するときは **SVHS** 表示が点灯していることを確認してください。

準備

★S-VHSモードで録画するときは **SVHS** マークのビデオカセットを用意してください。

- ツメのついたカセットを正しく入れる
(POWER)、表示が点灯
- 入力切換スイッチを「チューナー」にする
- テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)または(2)にする 
-  (TV/VIDEO) ボタンを押して (VIDEO) ランプを点灯させる
- Hi-Fi自動録音スイッチを「入」にする
- 音声出力切換ボタンとノーマル音声ミックススイッチで聞きたい音声を選ぶ 

1 標準/3倍ボタンで録画モードを選ぶ

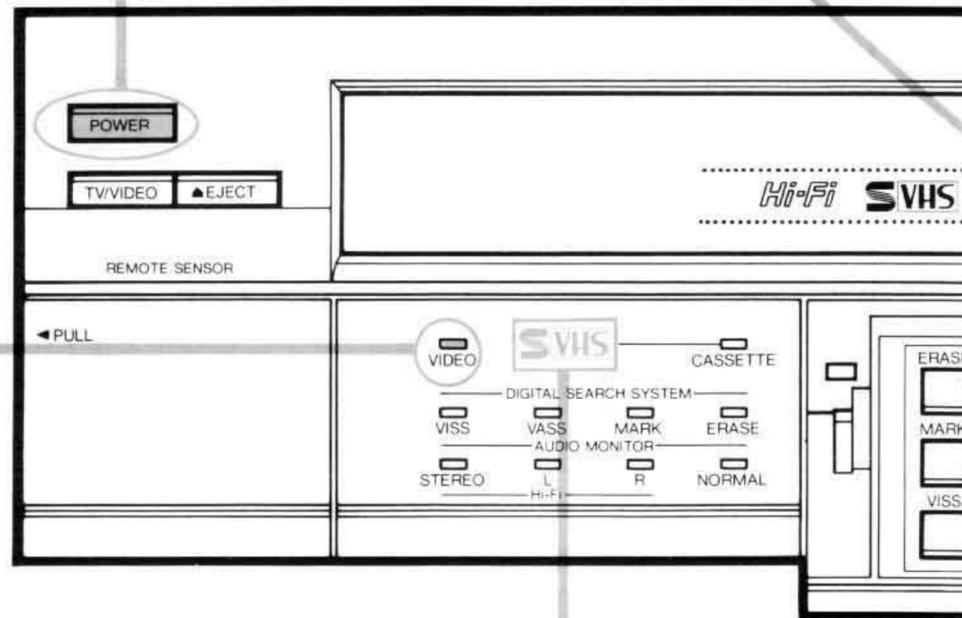
標準/3倍



ご注意

本機は録画を始めると自動的にインデックスコードがマークされます。デジタルサーチのランプが点滅しているときは、一時停止や停止等のボタン操作はしないでください。

(POWER)点灯

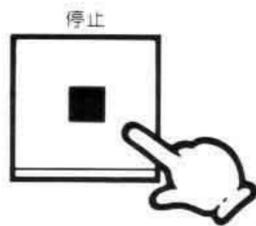


(VIDEO)ランプ

SVHS 表示

録画をやめるときは

停止ボタンを押す



停止状態にしたあと、ふたたびそこから録画を開始すると、前に記録した終わりの部分が消され、新しい映像や音声記録されますのでご注意ください。

一時停止のしかた

(チャンネル変更は一時停止状態でできます)

1 コマーシャルをカットしたいところで一時停止/静止ボタンを押す



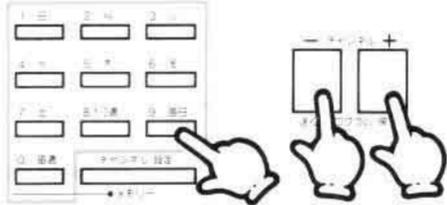
一時停止が約5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため、自動的に停止状態になります。

2 再び録画を始めるときに再生ボタンを押す



一時停止を利用して録画した場合は、画面のつなぎ部分で一瞬カラーノイズが出るかもしれませんが、故障ではありません。

2 ダイレクトボタンまたはチャンネル選局プラス/マイナスボタンで録画したいチャンネルに合わせる



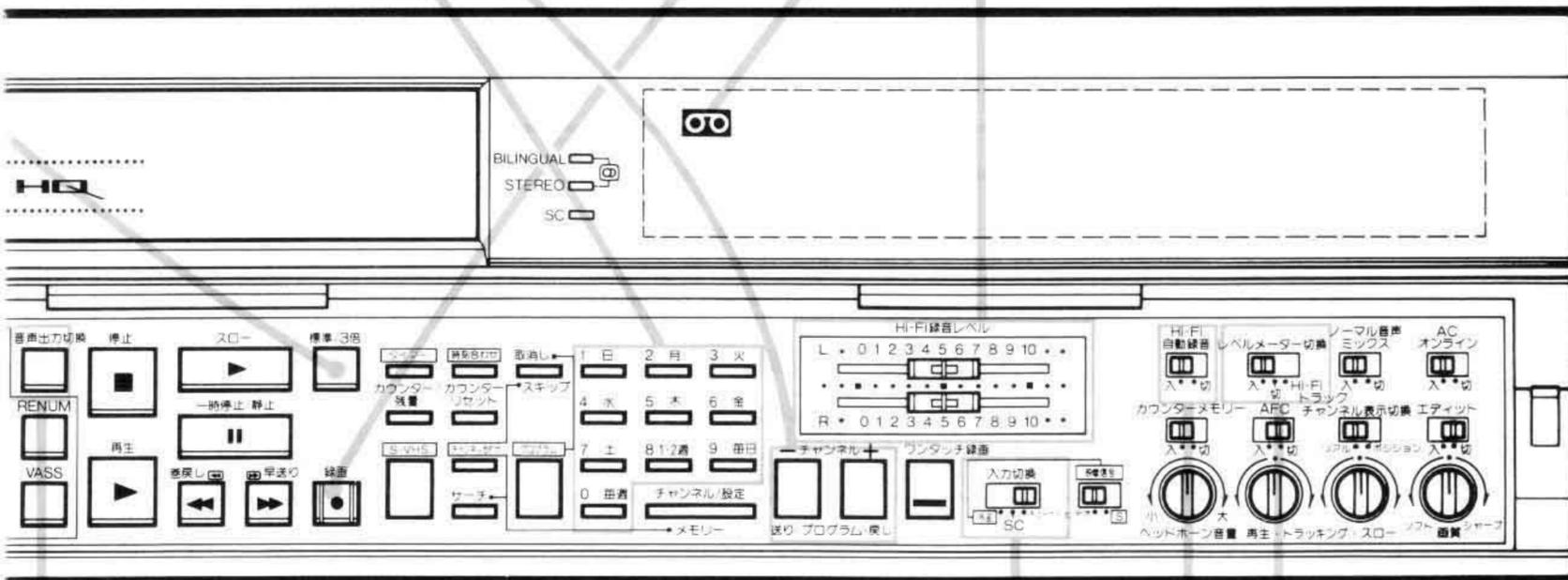
3 録画ボタンを押す
これで録画が始まります



リモコンのときは録画ボタンを押しながら再生ボタンを押してください

録画中にチャンネルを変える場合は一度一時停止/静止ボタンを押して、チャンネルを変えます。次に再生ボタンを押せば録画が始まります。

表示 オーディオHi-Fi録音レベルボリューム



音声出力切換ボタン

レベルメーター切換スイッチ

入力切換スイッチ Hi-Fi自動録音スイッチ

ウラ番組を録画するときは

1 録画中に「TV/ビデオ」ボタンを押して「VIDEO」ランプを消す



2 テレビのチャンネルを見たい番組に合わせる



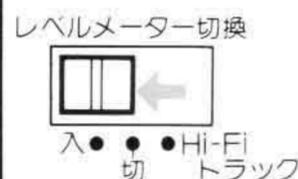
録音レベル(手動調整)について

本機は手動でHi-Fi音声の録音レベルを調整できます。

1 Hi-Fi自動録音スイッチを「切」にする



2 レベルメーター切換スイッチを「入」にする



3 オーディオHi-Fi録音レベルボリュームで録音レベルの調整をする
録音レベルは最大音量のときにレベルメーターの赤いランプ(インジケーター)が1つ点灯する位置が最適です

通常はHi-Fi自動録音スイッチを「入」にしてください。自動録音により適正な音量で録音できます。また、ノーマル音声は常に自動録音されます。

再生のしかた

準備

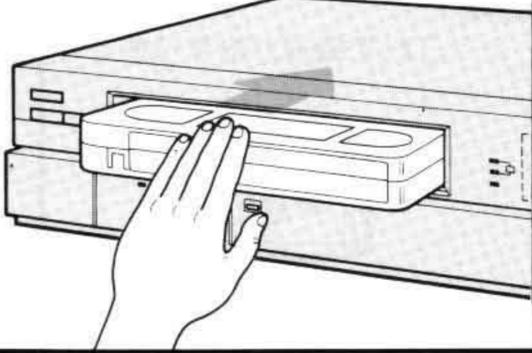
●テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)または(2)にする

35

映像モードについて

再生時はS-VHSモードとVHSモードの選択は必要ありません。自動的に映像モードを検出し、再生します。S-VHSモード時は **SVHS** 表示が点灯します。

1 録画済みカセットを正しく入れる
((POWER)、**VIDEO**表示が点灯)



2 再生ボタンを押す

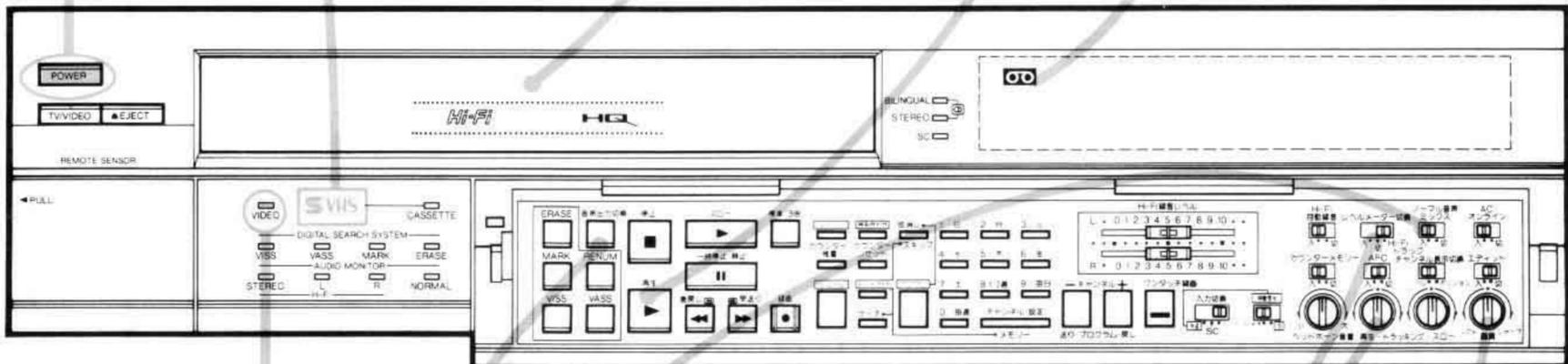


再生

〔VIDEO〕ランプが点灯し、再生が始まります。
ツメの折れているカセットを入れると自動的に再生になります。

(POWER)点灯

VIDEO表示



(VIDEO)ランプ

聞きたい音声を選ぶには

音声出力切換ボタン

再生する音声を選びます。このボタンを押す度に再生する音声は下の通り変わります。

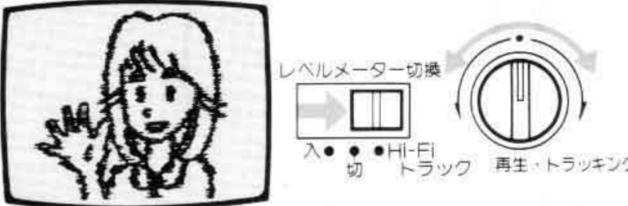
電源を「入」にした時点で………ステレオ放送

1度押すと…2ヶ国語放送の主音声
2度押すと…2ヶ国語放送の副音声
3度押すと…ノーマル音声のみ
4度押すと…ステレオ放送(以下くり返す)

ノーマル音声ミックススイッチ

「入」…ノーマル音声をミックス再生します
「切」…ノーマル音声をミックス再生しません
「各部の名称と働き」もお読みください(3~4ページ)

再生画像・Hi-Fi音声にノイズがあるときは



レベルメーター切換
入 ● ● Hi-Fi ● ● 再生・トラッキング
切 ● ● トラック

1 レベルメーター切換スイッチを「Hi-Fiトラック」に合わせる

2 再生トラッキングつまみを回し、レベルメーター(R側)が最大になる位置に合わせてください(通常は中央位置に合わせてください)

お好みの画質にしたいときは

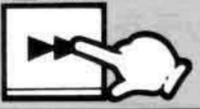
画質調整つまみをソフト/シャープ側に回し、お好みの画質に合わせてください。

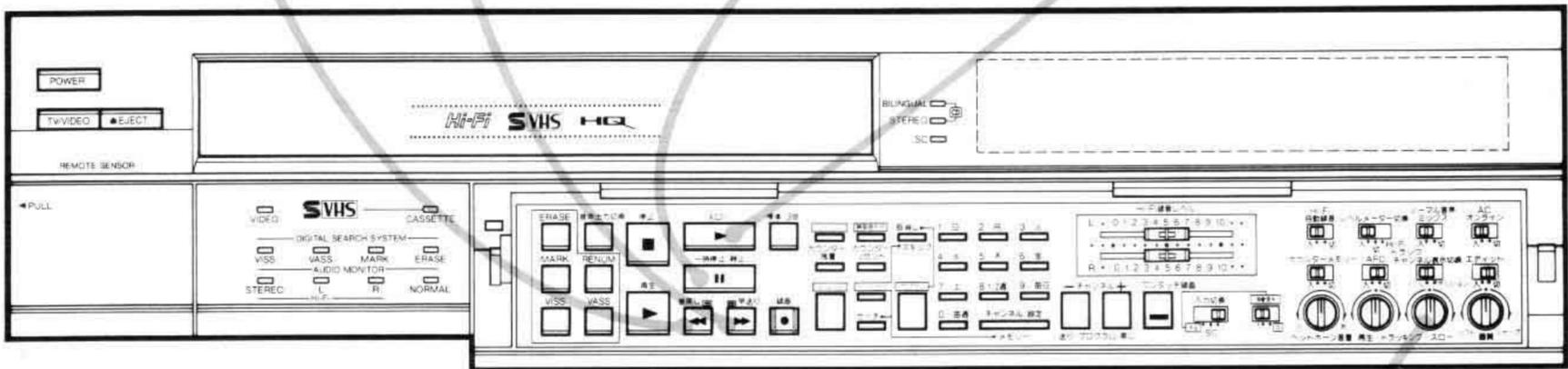


ソフト 画質 シャープ

いろいろな再生のしかた

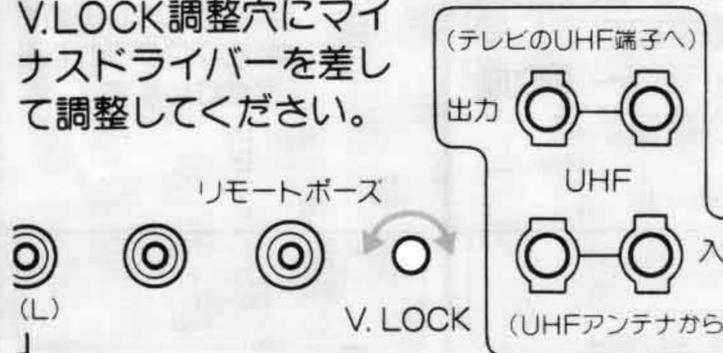
テープの気に入ったシーンをもう1度見たい(シャトルサーチで頭出し)、住所、献立表などをメモしたい(静止画再生)。こんなときに便利ないろいろな再生ができます。

画面を見ながら 巻戻し/ シャトルサーチ再生	画面を見ながら 早送り シャトルサーチ再生	画面を止めて見る (ストップモーション) 静止画再生 一時停止/静止	画面をひとコマずつ送る コマ送り再生 一時停止/静止	ゆっくり動作で見る スロー再生 スロー
				
巻戻しボタンを押す	早送りボタンを押す	一時停止/静止ボタンを押す	静止画再生中、一時停止/静止ボタンを押す	再生中、1度押すと1/30スロー、その後押すたびに1/24、1/18、1/12、1/6と可変します。
				
<ul style="list-style-type: none"> ●押し続けている間だけシャトルサーチできます。 ●シャトルサーチ中は画面に数本のノイズが出ますが故障ではありません。シャトルサーチのスピードは、標準モード、3倍モードともそれぞれ約7倍です。 ●音声は出ません。 		<ul style="list-style-type: none"> ●音声は出ません。 ●再生ボタンを押すと、再生状態に戻ります。 ●約5分以上続けると、自動的に停止状態になります。 		



静止画再生中に画面が上下に揺れるときは

画面を見ながら背面のV.LOCK調整穴にマイナスインドライバーを差し込んで調整してください。



(テレビのUHF端子へ)
出力 UHF 入力 (UHFアンテナから)

リモートボース

(L) J

スロー再生の画面にノイズがあるときは

スロートラッキングつまみを回し、画面を見ながらノイズが最小になる位置に合わせる(通常は中央位置に合わせてください)



スロー

タイマー録画のしかた

準備

- 現在時刻を合わせる
- ツメのついたカセットを正しく入れる((POWER)、表示が点灯)
- 入力切換スイッチを「チューナー」にする
- Hi-Fi音声の録音レベルを調整する(またはHi-Fi自動録音スイッチを「入」にする)

たとえば、月曜日の午前10時10分に水曜日の午後8時(20:00)から9時50分(21:50)までの「4」チャンネルをプログラム番号「1」に合わせる場合

S-VHSモードで録画予約するときは

S-VHSカセットを正しく入れてS-VHSボタンでS-VHSモードを選択します。(S-VHS表示で確認してください)
VHSモードで録画するときは、S-VHSボタンでS-VHS表示を消してください。

1 プログラムボタンを押す

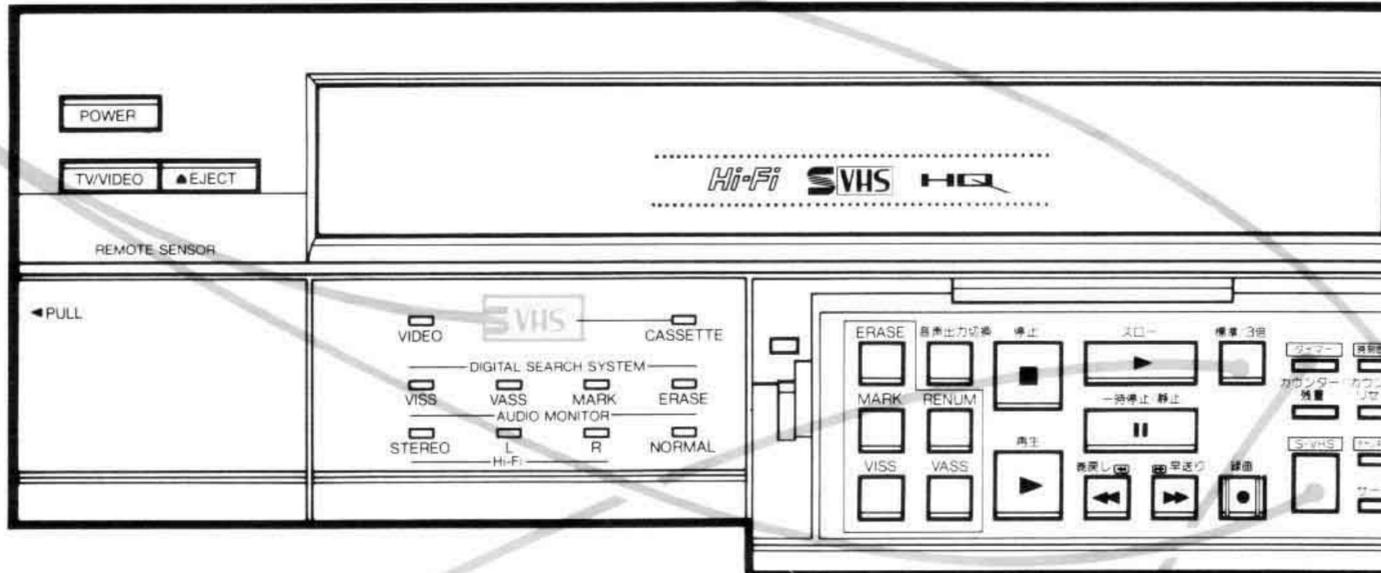


2 ダイレクトボタンでプログラム番号(1~8)を選ぶ

プログラム送りボタンを押す



3 ダイレクトボタンで「曜日」を合わせる
1・2週ボタンで「1週目」と「2週目」を合わせる



6 ダイレクトボタンで「チャンネル」を合わせる

プログラム送りボタンを押す

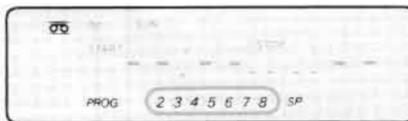


7 標準/3倍ボタンで録画モードを選ぶ



8 さらにいくつかの番組を予約するときは

プログラム送りボタンを押して2に戻り、空いているプログラム番号を選んで3~7の操作をくり返します



9 全ての番組を予約したら、タイマーボタンを押す

- このとき表示は時計表示になり **TIMER** 表示が点灯し予約されたプログラム番号が点灯します。



- ▶「毎日録画」をするときは毎日ボタンを押して「SUN~SAT」まですべてを表示させる。
REPEAT 毎週も表示される。
 (毎週ボタンを押すと消える。)
- ▶「毎週録画」をするときは毎週ボタンを押して **REPEAT** を表示させる。

プログラム送りボタンを押す

4 ダイレクトボタンで録画開始時刻の「時」と「分」を合わせる

プログラム送りボタンを押す

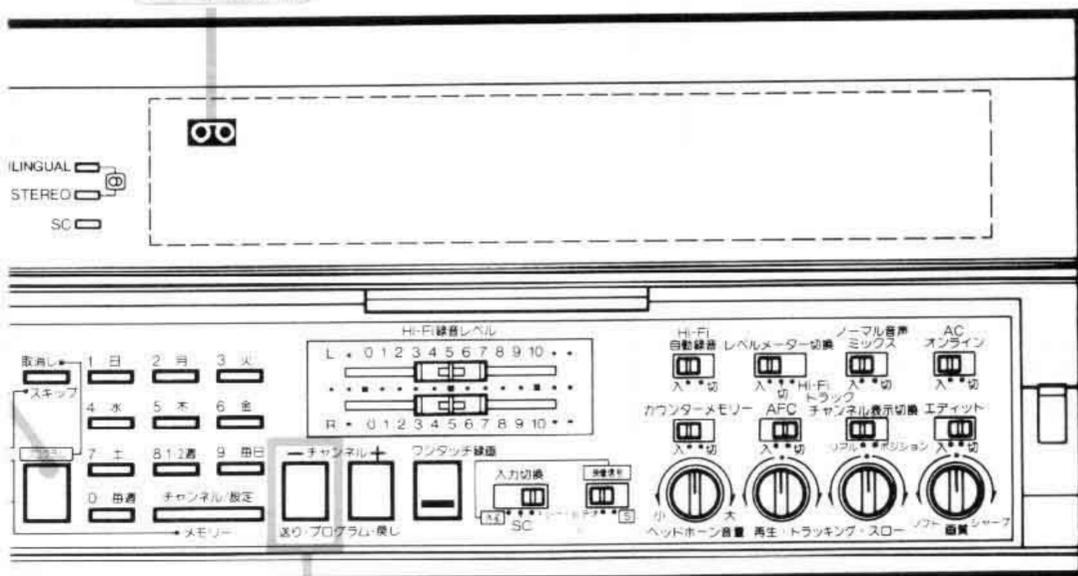


5 ダイレクトボタンで録画終了時刻の「時」と「分」を合わせる

プログラム送りボタンを押す



表示



プログラム送りボタン

- 合わせたはずのプログラム番号が点灯しないときは、予約にミスがありますので、プログラムボタンを押して確認してください。
- 1つも正しいプログラムが予約されていない場合、**TIMER** 表示が点滅して知らせます。このときは再度予約内容を確認してください。

予約内容を変更したいときは

2~7の操作中にプログラム戻しボタンを押して点滅表示部を戻し、ダイレクトボタンで訂正します。

プログラムをキャンセルしたいとき

キャンセルしたいプログラム番号に合わせ、キャンセル/スキップボタンを押す

- タイマー録画が終わったらタイマーボタンを押して **TIMER** 表示を消します。

- タイマー録画中に録画をやめる場合はタイマーボタンを押して **TIMER** 表示を消してから停止ボタンを押してください。

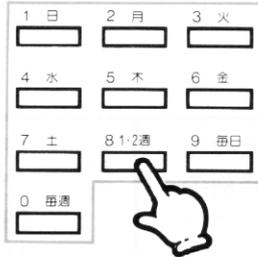
- ツメのついていないカセットが入っている時は、テープが戻され **TIMER** 表示が点滅します。

タイマー録画時の「セット」について

「録画日」をセットするときは必要な内容を打ち込んでからプログラム送りボタンを押します。

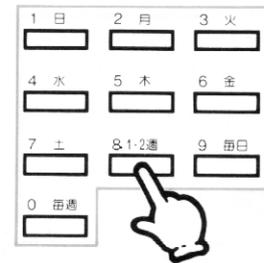
セットに使うダイレクトボタンの機能

- 1日 ボタン……………日曜日
- 2月 ボタン……………月曜日
- 3火 ボタン……………火曜日
- 4水 ボタン……………水曜日
- 5木 ボタン……………木曜日
- 6金 ボタン……………金曜日
- 7土 ボタン……………土曜日
- 8 1・2週 ボタン……………1週目/2週目(「曜日」をセット後に操作)
- 9 毎日 ボタン……………毎日
- 0 毎週 ボタン……………毎週(「曜日」をセット後に操作)



「曜日」について

1～7または9のダイレクトボタンを使います。



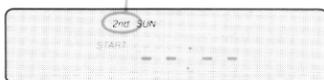
1週目/2週目について

本機の1週目/2週目は、タイマー予約時から7日間(168時間)/14日間(336時間)をそれぞれ示します。

1週目/2週目とは

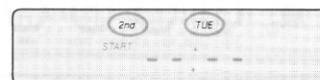
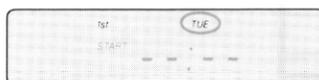
- たとえば、本日が木曜日の午後10:00ならば……
- 1週目は、来週の木曜日の午後9:59までです。
- 2週目は、来週の木曜日の午後10:00から、再来週の木曜日の午後9:59までです。
- (2週目の予約をするときは、1・2週ボタンを押して、「2nd」の表示にしてください)

2週目表示



曜日の予約例

- 本日が木曜日で火曜日に録画予約するときは「TUE」を表示させます。
- 2週目の火曜日に録画予約するときは「2nd」と「TUE」を表示させます。



「毎週予約」について

曜日(日曜日から土曜日)をセット後0毎週ボタンを押すと、毎週同じ時間・チャンネルの番組を録画します。

- アニメ番組など、毎週連続の番組を予約するとき便利です。



「毎日予約」について

- 9毎日ボタンを押すと、「SUN～SAT」までが全て表示し、毎日同じ時間、同じチャンネルの番組を録画します。



- REPEAT** 毎週も表示される。1週間だけの録画のときは0毎週ボタンを押して**REPEAT** 表示を消してください。



※朝の連続ドラマなどの予約に便利です。

- 9毎日ボタンを押し、「SUN～SAT」まで全て表示後、1日～7土ボタンを押すと、押した曜日の表示が消え、1週間以内のお望みの曜日(複数)だけを選んで録画できます。誤って押した場合はもう一度押すとまた表示されます。

タイマー録画時のご注意

■プログラム番号が点灯しない……

TIMER表示が点滅する……

- カセットが入っていない、ツメがついていない
- 録画開始時刻または録画終了時刻がセットされていない。



プログラムの内容を確認してください。

■タイマー表示部が0:00で点滅しているときは…

- タイマー録画前や録画中に停電があり、プログラム内容が消えてしまった。↓

現在時刻を合わせてから再度タイマー予約をセットしてください。

■タイマー録画中は……

- 停止/一時停止の操作はできません。



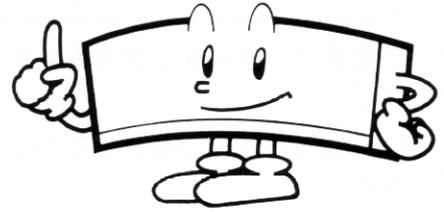
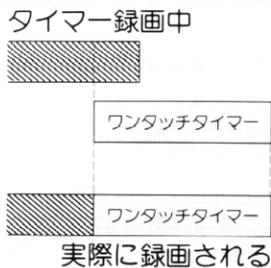
タイマーボタンを押してから操作してください。

■ワンタッチタイマー録画をすると…

- タイマー録画予約中および実行中でも、ワンタッチタイマー録画が優先されます。

たとえば

録画終了時刻まで30分しか残っていない場合でも、ワンタッチタイマーで60分間セットすると、録画は60分後に終了します。



■タイマー予約操作中に……

約1分以内に次の操作にうつらない場合、時計表示にもどります。

■タイマー録画では……

- 録画開始の約20秒前に電源が入り、一時停止をしたのち録画が開始します。
- オートリwind機構は動作しません。テープの最後まで録画をすると、カセットがカセット挿入口から出てきて電源が切れ、TIMER表示が点滅します。

■もし、同じ日に予約した番組の時刻が重なったら……

	20:00	21:00	22:00	23:00
プログラム番号1 (8チャンネル)	プロ野球			
プログラム番号2 (4チャンネル)		ドキュメント		
プログラム番号3 (1チャンネル)			ドラマ	
録画されるのは	(8チャンネル) プロ野球	(4チャンネル) ドキュメント	(1チャンネル) ドラマ	

- このように録画されますから、予約した時刻が重なったときは注意してください。ただし、予約した曜日が異っている場合は正しく録画されます。

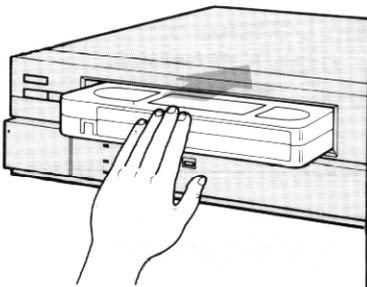
ワンタッチタイマー録画のしかた

30分単位で、4時間

準備

- テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)または(2)にする
 - (テレビ/ビデオ) ボタンを押して (VIDEO) ランプを点灯させる
 - Hi-Fi音声の録音レベルを調整する(またはHi-Fi自動録音スイッチを「入」にする)
- ★S-VHSモードで録画するときは **S-VHS** マークのついたカセットを用意してください。

1 ツメのついたカセットを正しく入れる

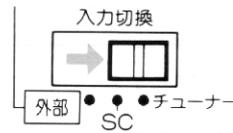


(POWER)、 表示が点灯します

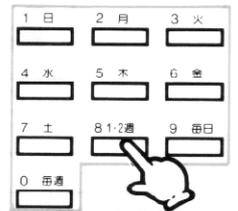
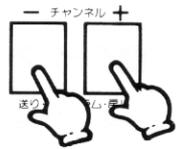
2 標準/3倍ボタンで録画モードをきめる



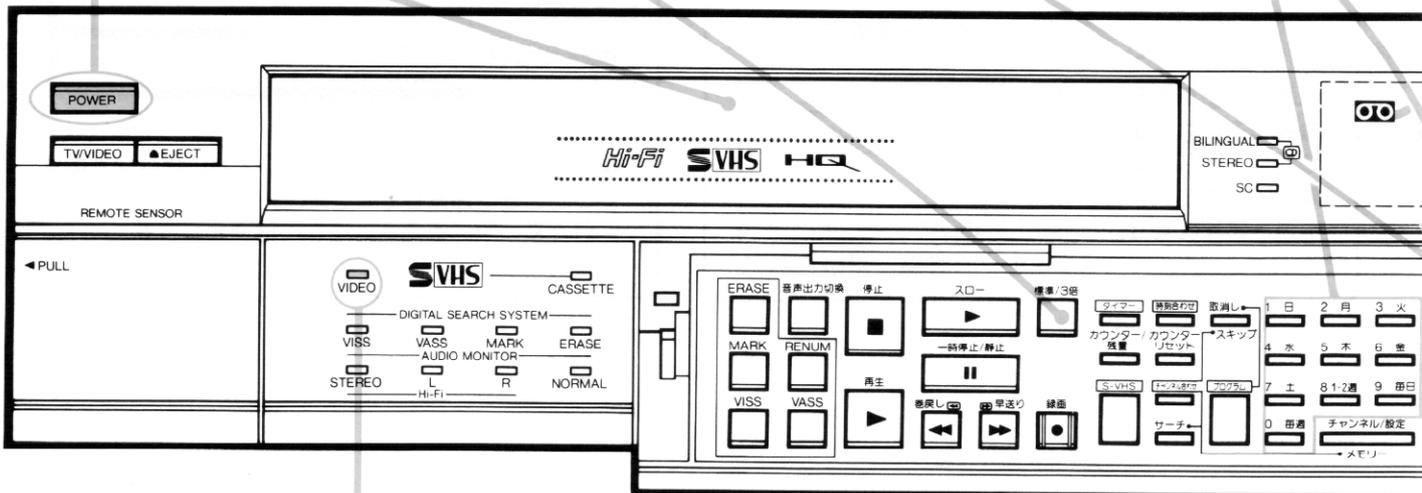
3 入力切換スイッチを「チューナー」にする



4 チャンネル選局プラス/マイナスボタンまたはダイレクトボタンで録画したいテレビチャンネルを選ぶ



(POWER)点灯

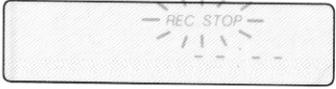


(VIDEO)ランプ

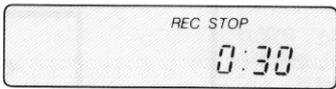
まで録画時間を簡単にセットできます。

今見ている番組を録画するときは

5 ワンタッチ(タイマー)録画ボタンを押す



6 再びワンタッチ(タイマー)録画ボタンを押す



●録画が始まると時間を減算し、残り時間を表示します。

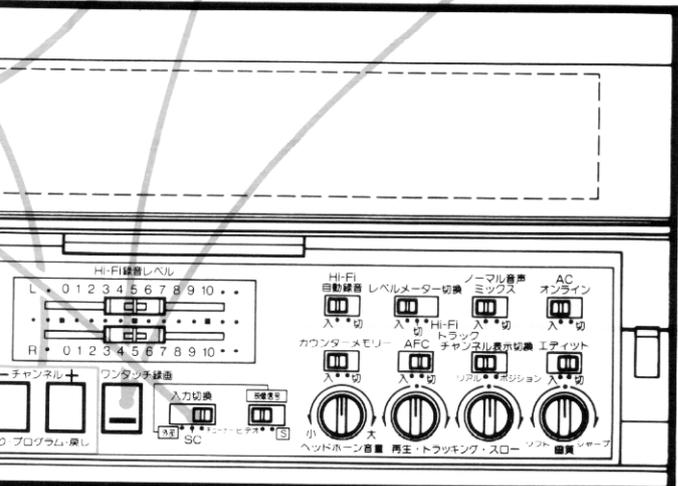


押す回数により30分単位で 0:30 ~ 4:00 までセットできる
4:00 表示後さらに押すと 0:00 になります。

30分単位にセット後、ダイレクトボタンで分単位(最大 9:59 まで)の設定ができます
その後、チャンネル/設定・メモリーボタンを押す。

0:00 になると自動的に電源が切れる

表示



●ワンタッチタイマー録画を途中でやめるときは停止ボタンを押してください。

便利な使いかた1 (デジタルサーチ(高速頭出し)について)

本機は高速頭出しができるデジタルサーチ機能を搭載しています。デジタルサーチは、本に例えるとページ数にあたり、場面の高速呼び出しに便利な「アドレスコード」と、章にあたるミュージックビデオなどの高速頭出しに便利な「インデックスコード」の2つを併用できます。

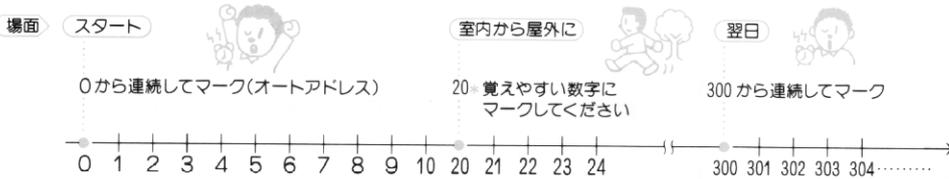
アドレスコードについて

アドレスコードとは、テープの数字をあらかじめマーク(記憶)して、数字を入力することにより見たい場面を高速呼び出しし、自動的に再生します。テープの任意の場所に任意のアドレスコード(0~9999まで可)をマーク。さらに約1分ごとに自動的に数字

を加算していく「オートアドレス」もできます。映画・スポーツ・ドラマなどの名場面などを分単位で呼び出せる便利な機構です。

※アドレスコードは、早送り/巻戻し、およびシャトルサーチで呼び出します。

アドレスのマーク例



* わかりやすい数字をマークしておく、後で編集を行なうとき便利です。

前にマークしている数字より大きい数字をマークしてください。

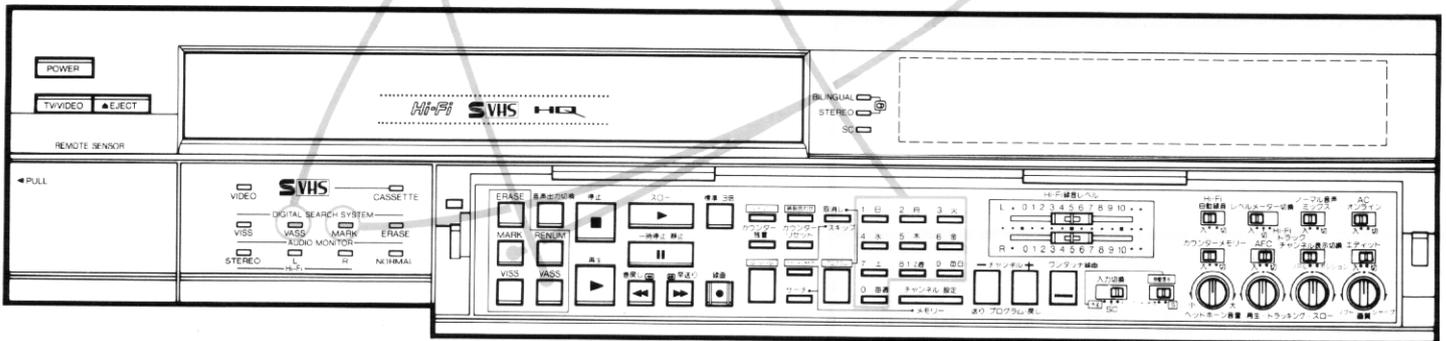
アドレスコードを好きな場面にマークしたいときは

- 1 マークしたいテープを再生または録画状態にする
- 2 (VASS) ボタンを押す (「VASS」ランプが点灯)

アドレスコードを検出するまでは、カウント表示部が「----」になります。
- 3 マークしたい数字をダイレクトボタンで設定する

* これを行わないと、0000がそれ以前に入力した数字+1がマークされます。
* 数字は覚えやすいものにしてください。
- 4 マークしたい位置で (MARK) ボタンを押す (「MARK」ランプが点灯し、点滅に変わる)

(「VASS」、「MARK」ランプが消えたらアドレスコードのマーク完了です。)



ご注意

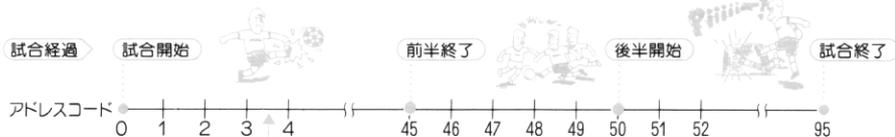
- * ツメのとれたカセットまたは無記録部にはマークできません。お手持ちのテープにコードをマークすることもできますが録画モードにすると前の画像・音声が消えますので特にご注意ください。
- * とりのアドレスまたはインデックスコードとは多少離してマークしてください。コード間隔が近すぎると、呼び出し・コード書

き換え (RENUM)、取り消し (ERASE) にて誤動作することがあります。

* アドレスコードの番号はテープ送り方向へ順次大きくなるようにしてください。

* 再生状態でコードをマークするとき、音声が正常に聞けませんが

オートアドレスのコード例



コマーシャルカット(録画一時停止)アドレスは続きの番号が打たれます

*ゴールシーンなどの分数を覚えておくなど、素早く呼び出し名プレーが楽しめます。

番組の始まりから約1分間ごとに自動的にマークしていくときは(オートアドレス)

1 マークしたいテープを録画状態にする

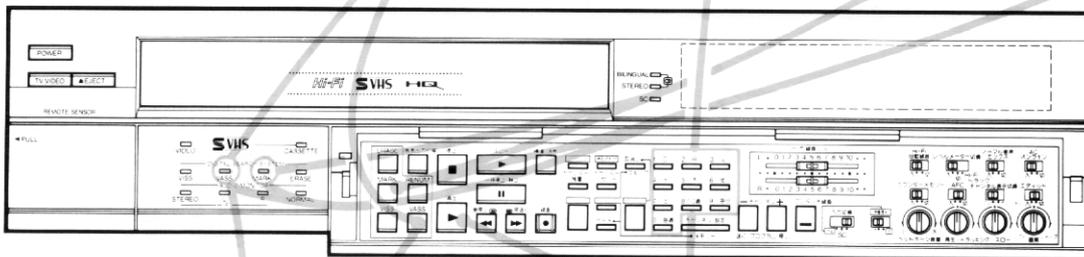
2 ^{バス}(VASS) ボタンを押す
(「VASS」ランプが点灯)

3 マークしたい最初の数字をダイレクトボタンで設定する
*これを行なわないと、0000がそれ以前に入力した数字+1がマークされます

4 マークを始めたい位置で ^{マーク}(MARK) ボタンを一度押し、「MARK」ランプが点滅中に、もう一度 ^{マーク}(MARK) ボタンを押す

5 「VASS」、「MARK」のランプが点灯し、オートアドレスを知らせます。
約1分間隔でアドレスコードが自動的に加算され、マークされていきます。
マークを終了したいときは「MARK」ランプが点滅中に再び「MARK」ボタンを押す

(「VASS」、「MARK」ランプが消えたらアドレスコードの完了です)



アドレスコードを呼び出したいときは

1 テープ再生中または停止時に ^{バス}(VASS) ボタンを押す
(「VASS」ランプが点灯)

アドレスコードを検出するまでは、カウント表示部が **---** になります。

2 呼び出したい場所のアドレスコードの番号をダイレクトボタンで押す

3 再生ボタンを押す

これで希望したアドレスコードを自動的に呼び出し、その位置から再生を開始します。

故障ではありません。

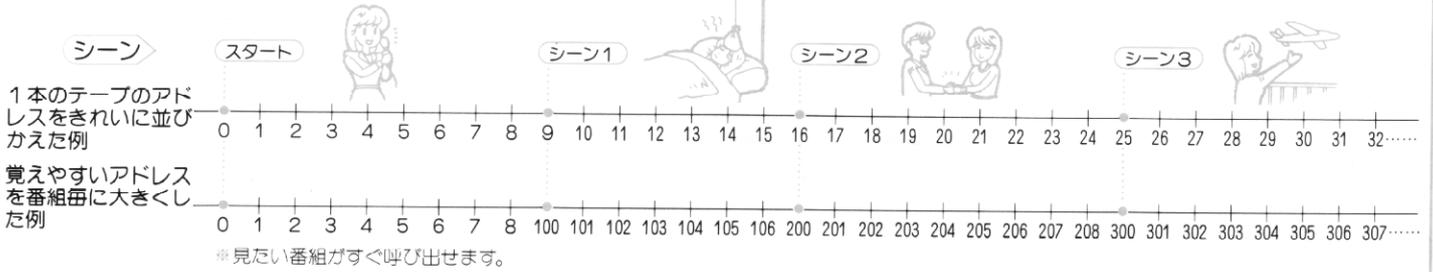
* アドレスまたはインデックスコードのそばで録画モードが「標準」から「3倍」に切り換えられていると、アドレスコードを書き換えや取り消しをしたあとで、画面が乱れることがあります。
「MARK」や「ERASE」のランプが点滅をしているときは、他の

ボタン操作はしないでください。

* ワンタッチ(タイマー)録画ボタン、プログラムボタン、時刻合わせボタン、タイマーボタンのいずれかが押されていると(VASS)ボタン/(VASS)ボタンは動作しません。
* アドレスコードは録画開始時点に自動的にマークされません。

便利な使いかた1 (デジタルサーチ(高速頭出し)について)

コード書き換え(RENUMBER)例



マークされたアドレスコードを書き換えたいときは(RENUMBER)

1 書き換えたい位置までテープを再生する

2 一時停止/静止ボタンを押して静止にする

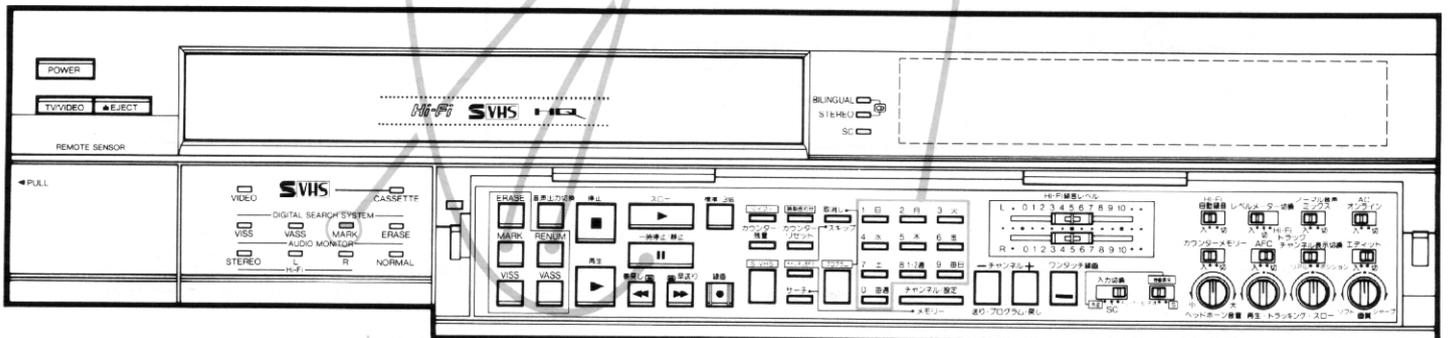
3 リナンバー (RENUM) ボタンを押す

4 ダイレクトボタンで書き換えたいアドレスコードの開始番号を押す

これを行なわないと0000かそれ以前に入力した数字+1からリナンバーします。

5 マーク (MARK) ボタンを押す (「MARK」ランプが点灯)

アドレス、インデックスコードを見つけると自動的にアドレスコードを書き換え、それが完了すると設定したアドレスコードに1を加算して次のコードを書き換えます。これを順次くり返し、(RENUM) ボタンまたは(停止) ボタンを押さない限りテープの終わりまで続けます。



インデックスコードについて

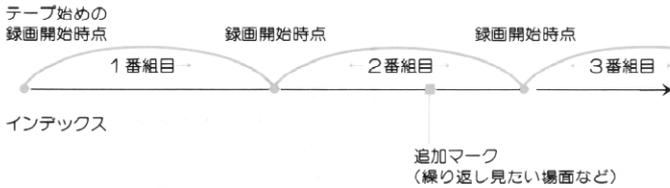
インデックスコードとは…1本のテープにいくつかの番組を録画したとき、番組の最初または任意の場所にマークされる目印です。見たい番組をすばやく呼び出すときや、ミュージックビデオの選曲などに便利です。

- ※録画開始時点には、自動的にマークします。
- ※任意の場所にマークするときは、再生/静止画再生

または録画時に①(VISS)ボタンを押し②マークしたい位置で(MARK)ボタンを押します。(静止画再生時はこの後再生ボタンを押す)

- * オートアドレス中はインデックスコードのマークができません。
- * 一時停止ボタンを使用して録画を開始したときは、インデックスコードはマークされません。

インデックスのマーク位置

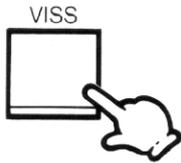


コードがうたれていないミュージックテープの頭ごとに

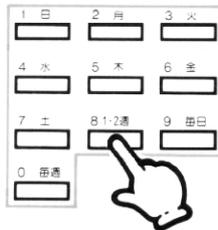


インデックスコードを呼び出したいときは

1 テープの再生中または停止時に(VISS)ボタンを押す(「VISS」ランプが点灯)



2 希望するインデックスコードの位置までのインデックスコード数をダイレクトボタンで押す(すぐとなりのインデックスコードを呼び出すときは、押す必要はありません)



3 希望する位置が戻し方向の場合は巻戻しボタンを、送り方向の場合は早送りボタンを押す

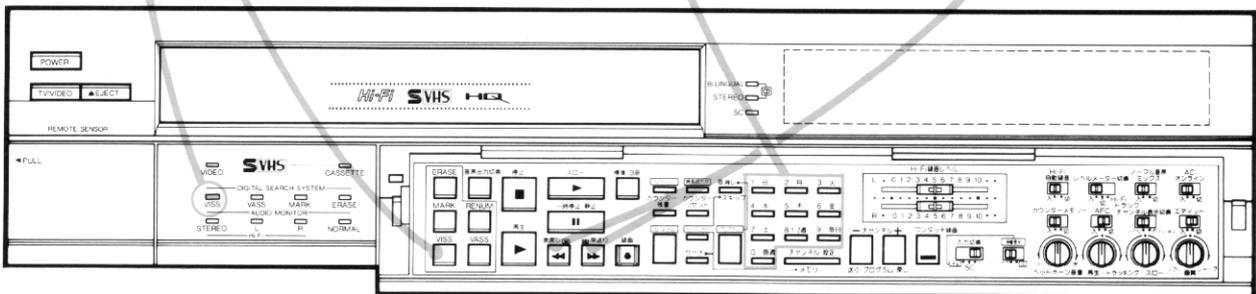


これで希望したインデックスコードを自動的に呼び出し再生を開始します。

- *再生中の場合はシャトルサーチ、停止時の場合は早送り/巻戻しで呼び出します。
- *インデックスコードで呼び出せるのは、最大前後9つまでです。
- *チャンネル表示部は、希望したインデックスコードまでのマーク数を減算します。

呼び出し例

インデックスの配置	現在位置	呼び出したい番組	操作手順
	C番組 途中	A番組	VISS → 3 → REW
	C番組 途中	D番組	VISS → FF



ご注意

*テープ最初の部分に記録されている番組はインデックスコードの呼び出しやコードの取消しができないことがあります。23~24ページ「ご注意」も参照ください。

便利な使いかた1 (デジタルサーチ(高速頭出し))

マークされたアドレスまたはインテックスコードを取り消したいときは

1 取り消したいコードの数秒前でテープを静止にする



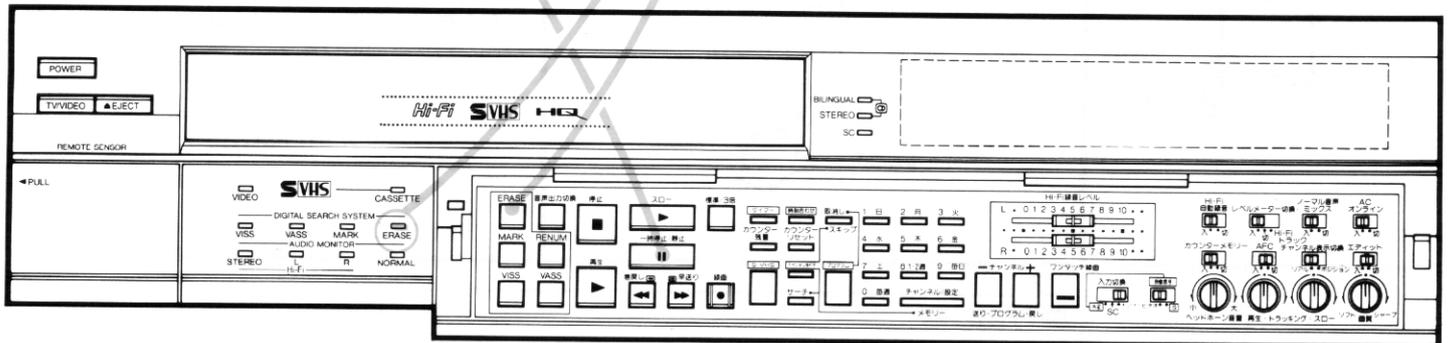
2 イレース (ERASE) ボタンを押す
(消去中は「ERASE」ランプが点滅)

テープにマークしてあるインテックスまたはアドレスコードを読みとり、自動的に消去します。



連続して消去したい時は「ERASE」ランプが点滅中に「ERASE」ボタンを押し続けてください。手を離すと消去が終了します。

消去が終了すると「ERASE」ランプの点滅が消え、再生状態になります。ひき続き取り消す場合は、再び静止にし、「ERASE」ボタンを押してください。



便利な使いかた2 (カウンターGO-TO)

カウンターGO-TOについて

自由にカウントを設定すると、その位置まで自動的にテープを早送り/巻戻しを行ない、再生を始めます。任意のカウントでの頭出しができる便利な機構です。(カウントが同じでも場面は多少ずれることがあります)

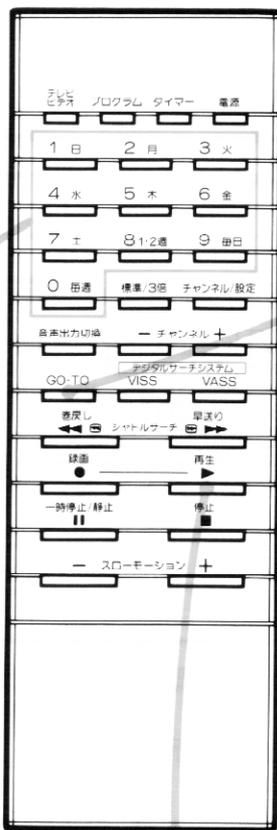
準備

- 操作はリモコンで行ないます。
- 停止ボタンを押してテープを停止状態にします。

1 リモコンの(GO-TO)ボタンを押す

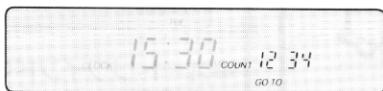


テープ巻初めからのカウント
テープ巻初めからのカウントを検出していないときは、カウント表示は「---」となります。



2 リモコンのダイレクトボタンで任意のカウントをセットする

10秒以内に



3 再生ボタンを押す

10秒以内に

セットしたカウントまで、早送りや巻戻しを自動的に行ないます。



カウント表示が「---」の時は自動的に巻きもととして、テープ巻初めを検出してから早送りします。

- 1または2で約10秒以上放置すると、「COUNT」表示に戻ります。
- 「カウンターGO-TO」動作中に他の操作ボタンを押すと、「カウンターGO-TO」は取消されます。



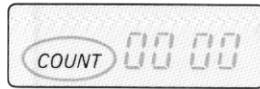
セットしたカウントになると「カウンターGO-TO」は終了し、再生が始まります。

便利な使いかた3 〈カウンター表示/テープ残量表示/オー

カウンター表示

カウンター/残量ボタンは1回押すごとにカウンター表示/テープ残量表示を切り換えることができます。

1 カウンター/残量ボタンで「COUNT」表示を出す



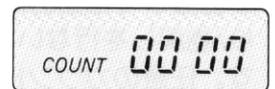
カウンター/
残量



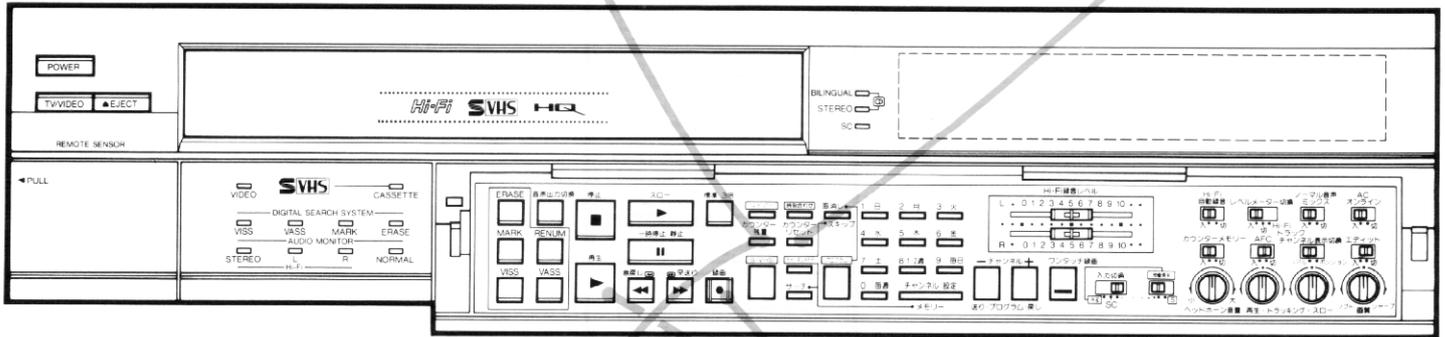
2 テープ走行によりテープカウンターが動く



3 テープカウンターを0000にするときはカウンターリセットボタンを押す



カウンター
リセット

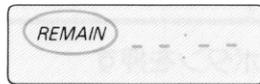


テープ残量表示

テープ残量表示は、カセットの残り時間を表示します。おおよその目安としてご利用ください。

ご使用になるカセットテープの種類によっては残量表示までに時間がかかったり、正しい残量表示をしないことがあります。録画あるいは再生をして残量表示が出た後はカセットを取り出すまで残量を表示しています。(早送りや巻戻しでもおおよその残量を表示します。)

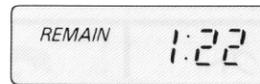
1 カウンター/残量ボタンで「REMAIN」表示を出す



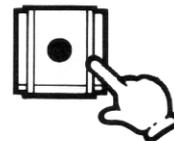
カウンター/
残量



2 録画あるいは再生をする



録画



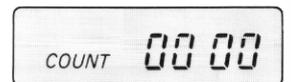
再生



オートリwind機構

録画/再生/早送り中にテープが最後まで走行したときオートリwind機構によりテープを自動的に巻戻します。

- カウンターメモリースイッチが「入」になっていると、カウンターが0000付近で自動的に停止します。



- オートリwind中に停止ボタンを押すとテープは停止します。

- タイマー録画中は動作しません。

トリwind機構/カウンターメモリー/プレイメモリー

カウンターメモリー

カセットを巻戻し、あるいは早送りしたいときカウンターが0000付近になると、その位置で自動的に停止する便利な機構です。テープをくり返し見たいときや、テープの途中に録画された場所を探すときに使います。

1 録画や再生中に見たいところでカウンターリセットボタンを押して0000にする



カウンターリセット



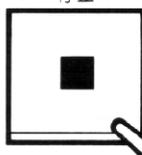
2 カウンターメモリースイッチを「入」にする

カウンターメモリー



3 録画や再生が終わったら停止ボタンを押す

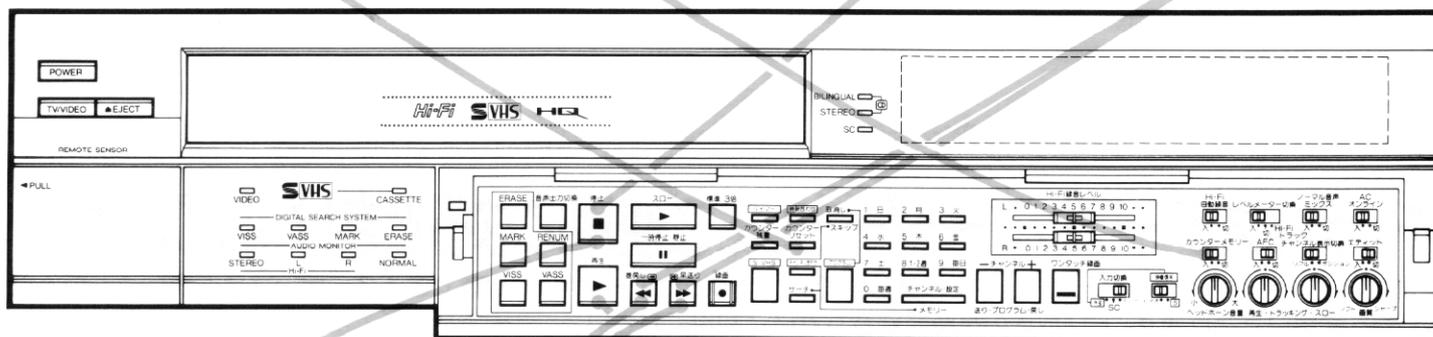
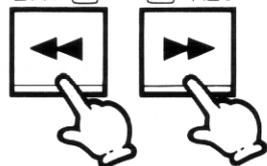
停止



4 巻戻しボタンあるいは早送りボタンを押す

カウンターが0000付近になると停止します

巻戻し 早送り

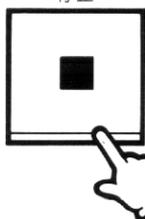


プレイメモリー

カセットを巻戻しあるいは早送りすると、カウンターが0000の位置、またはテープの最初から再生を始めます。

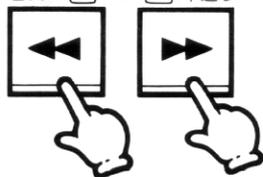
1 停止ボタンを押してテープを止める

停止



2 巻戻しボタンあるいは早送りボタンを押す

巻戻し 早送り



3 再生ボタンを押す

再生モード表示が点滅します。

再生

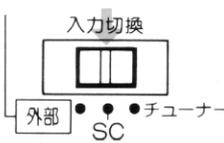


- プレイメモリー動作中に〔POWER〕、〔タイマー〕、〔早送り〕、〔巻戻し〕、〔EJECT〕、〔停止〕、〔再生〕ボタンのいずれかを押すとプレイメモリーは解除されます。
- カウンターメモリースイッチが「入」の時は〔巻戻し〕または〔早送り〕でカウンターが0000になったところから自動的に再生を始めます。
- カウンターメモリースイッチが「切」の時は〔巻戻し〕または〔早送り〕でテープの始めまで巻きもどしてから自動的に再生を始めます。再生を始めると再生表示が点灯に変わります。

サイマルキャスト記録のしかた

本機はテレビ番組(映像と音声)を記録しながら、別の音声(FM放送など)を同時にHi-Fi音声トラックに記録するサイマルキャスト記録ができます。

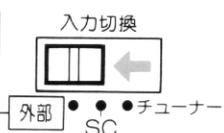
●下記の通りセットして、「テレビ番組の録画」(13~14ページ)と同様の操作を行なってください。

<p>1 本機のオーディオ入力端子とオーディオ機器の出力端子を 接続する</p>	<p>2 入力切換スイッチを サイマルキャスト 「SC」にする</p> 	<p>この状態で録画操作すると</p> <ul style="list-style-type: none"> ★テレビ番組が映像トラックとノーマル音声トラック(モノラル)に ★オーディオ機器の音声(FM放送など)がHi-Fi音声トラック(ステレオ)にそれぞれ記録されます。 	<p>サイマルキャスト記録時にテレビ放送が終了した場合</p> <p>記録されるHi-Fi音声が乱れる場合がありますので、記録の前にあらかじめ放送時間を確かめてください。</p>
--	---	---	--

オーディオテープレコーダーとしてご使用になるときは(オーディオ録音のしかた)

本機は、Hi-Fi音声で長時間(EPモードで最長8時間…T-160カセット使用時)録音できるオーディオテープレコーダーとしてもご使用いただけます。FM放送の長時間録音などにご利用ください。

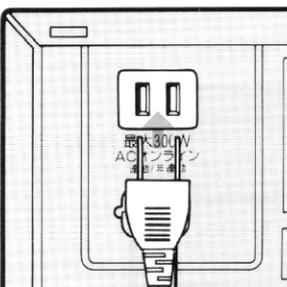
●下記の通りセットして「テレビ番組の録画」(13~14ページ)と同様の操作を行なってください。

<p>1 本機のオーディオ入力端子とオーディオ機器の出力端子を 接続する</p>	<p>2 入力切換スイッチを 「外部」にする</p> 	<p>この状態で録画操作すると</p> <ul style="list-style-type: none"> ★オーディオ機器の音声(FM放送など)がHi-Fi音声トラック(ステレオ)とノーマル音声トラック(モノラル)に録音されます。
--	--	---

ACオンラインについて

本機の内蔵のタイマーを使用して「サイマルキャスト記録」「オーディオ録音」のタイマーコントロールができます。

- 接続および各スイッチのセットは「サイマルキャスト記録のしかた(31ページ)」「オーディオテープレコーダーとしてご使用になるときは(31ページ)」「接続のしかた(35～36ページ)」に従ってください。

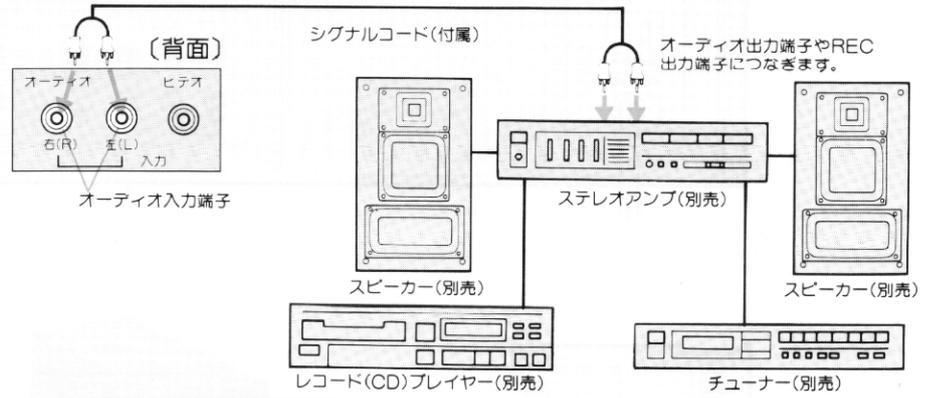
<p>1 本機の電源出力端子にオーディオ機器の電源プラグを接続する</p> 	<p>2 本機のACオンラインスイッチを「入」にする</p>  <p>「入」……本機接続の機器の電源は(POWER)ボタンとタイマーに連動します。 「切」……本機接続の機器の電源は常時ACが供給されます。</p>	<p>3 オーディオ機器の電源を「ON」にする</p> <p>(FMチューナー使用時は、録音したい局を選んでおく)</p>	<p>4 17～18ページ「タイマー録画」に従ってタイマーをセットする</p> <p>予約した時刻になると、セット時刻の20秒前に本機と接続オーディオ機器の電源が「ON」になり、自動的に記録が始まります。記録が終わると、本機と接続オーディオ機器の電源が「OFF」になります。</p>
--	--	--	--

- テレビの電源プラグは他の電源コンセントに接続してください。
- 本機とオーディオ機器を別々に使用するときは、ACオンラインスイッチを「切」にしてください。
- 接続されるFMチューナーの中には、ACが「切」になるとメモリーが消えるものがありますのでご注意ください。

「サイマルキャスト記録」「オーディオ録音」の接続のしかた

本機背面のオーディオ入力端子と、オーディオ機器(ステレオアンプなど)のオーディオ出力端子やREC出力端子を付属のシグナルコードで接続してください。

※「サイマルキャスト記録」では、テレビとの接続も必ず行なってください。



カメラ録画のしかた

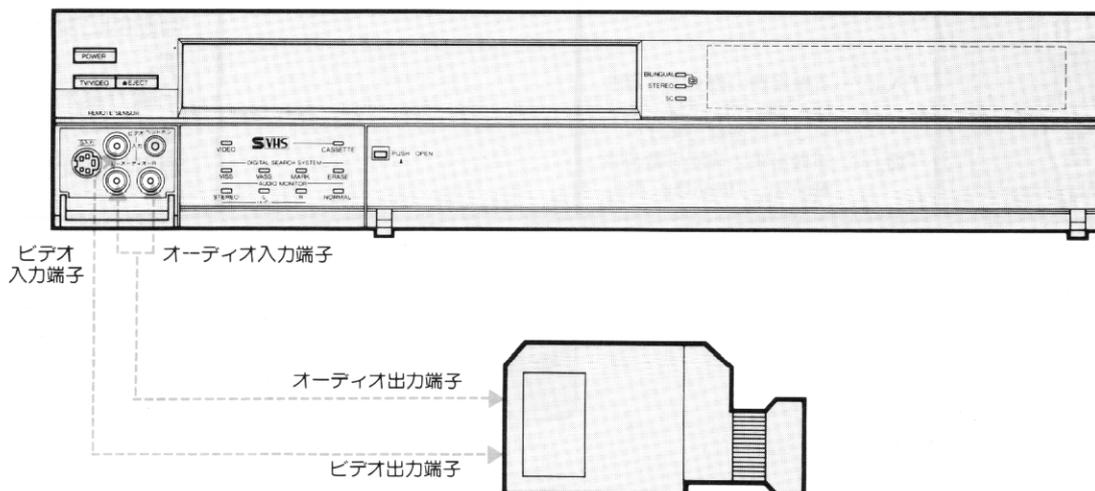
庭先でのゴルフレッスンやホームパーティ、お子さまの成長記録などビデオにしておけば、思い出がいつまでも再生でき、くらしの楽しさが広がります。

カメラアダプターを接続すると、カメラ録画をお楽しみいただけます。

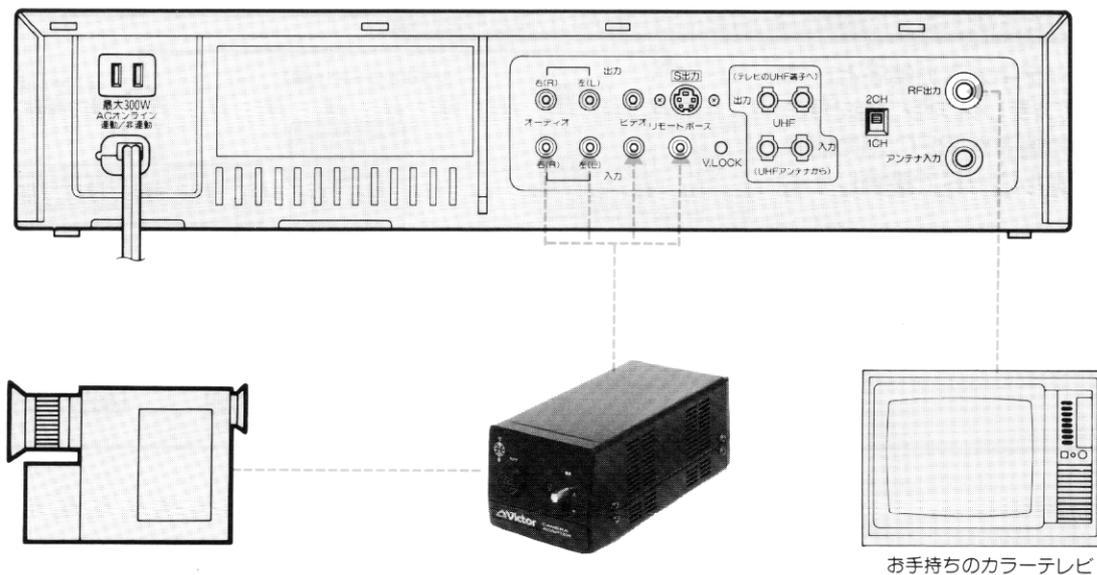
接続のしかた

ビデオカメラ・カメラアダプター・テレビの“取扱説明書”をよくお読みください。

〔前面入力端子を使用するとき〕



〔背面入力端子を使用するとき〕



操作のしかた

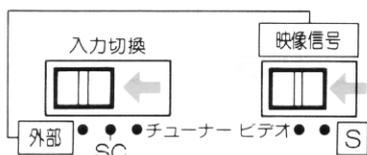
準備

★S-VHSモードで録画するときは**S VHS**マークがついたカセットを用意してください。

- ツメのついたカセットを正しく入れる((POWER)、表示が点灯)
- テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)または(2)にする
- (TV/VIDEO)ボタンを押して(VIDEO)ランプを点灯させる
- Hi-Fi音声の録音レベルを調整する(またはHi-Fi自動録音スイッチを「入」にする)
- 標準/3倍ボタンで録画モードを選ぶ

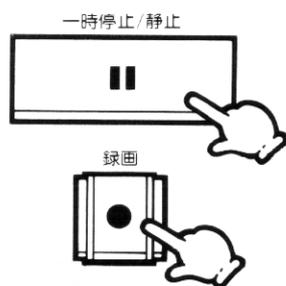
1 入力切換スイッチを「外部」にする

映像信号スイッチを「ビデオ」にする



2 一時停止/静止ボタンを押しながら録画ボタンを押す

録画スタンバイ状態



3 再生ボタンを押す

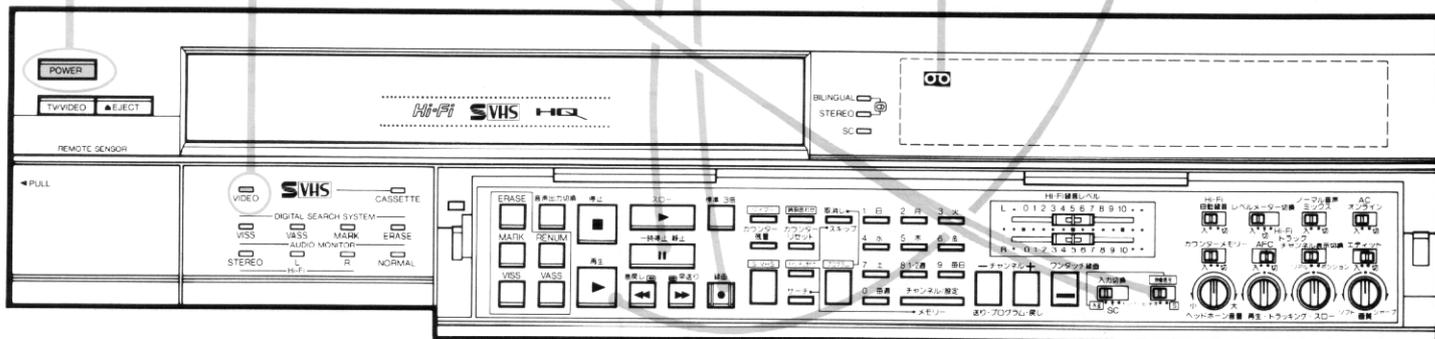
録画を開始します



(POWER)点灯

(VIDEO)ランプ

 表示



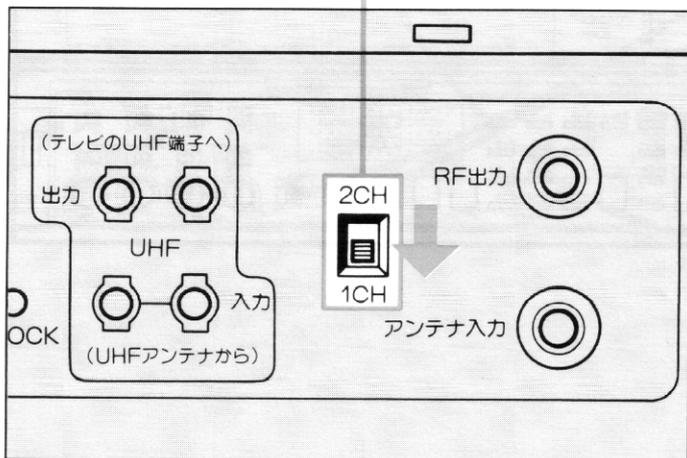
接続のしかた〔基本型〕

1 RFコンバーターのチャンネルを合わせます

RFコンバーターは、テープに録画される信号（映像と音声）やテープから再生される信号をテレビ放送の電波と同じ信号に変換する装置です。このRFコンバーターでつくられた電波は、放送されていない空チャンネル（東京なら2チャンネル、大阪なら1チャンネル）を利用してテレビにうつしだされます。



RFコンバーターのチャンネルは、工場から出荷される時、2チャンネル(2CH)にセットされています。2チャンネルに放送局がある地域は1チャンネル(1CH)にRFコンバーターを切替えてください。

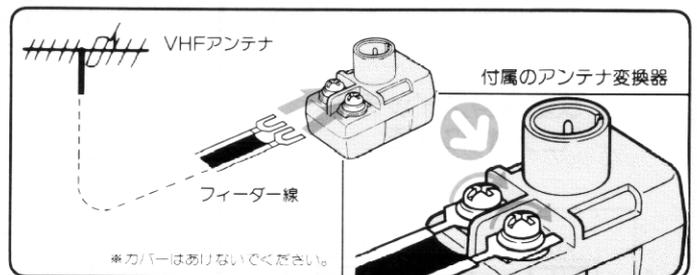


2 テレビのアンテナ線ははずし VHFアンテナ線を加工します

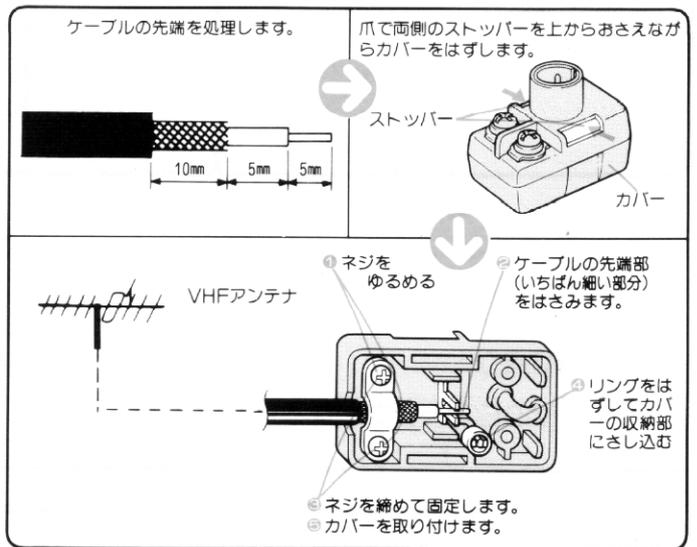
アンテナ線には、VHF(1~12チャンネルまでの受信用)アンテナとUHF(13~62チャンネルまでの受信用)アンテナがあります。

UHFアンテナ線は加工しないでください。

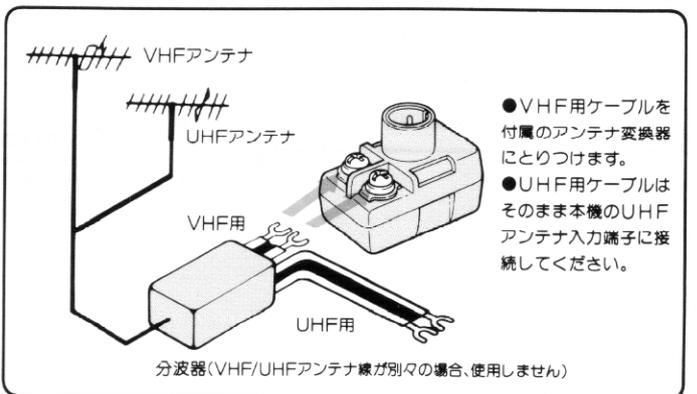
■VHFアンテナ線がフィーダー線の場合は



■VHFアンテナ線が同軸ケーブルの場合は



■アンテナ線に分波器を使用している場合は



3 ビデオとテレビを 図のようにつなぎます

ビデオもテレビと同じようにアンテナの条件が悪いとききれいな画質で録画・再生できません。正しく接続してください。

VHFフィーダー線はなるべく**HR-S7000**から離してご使用ください。

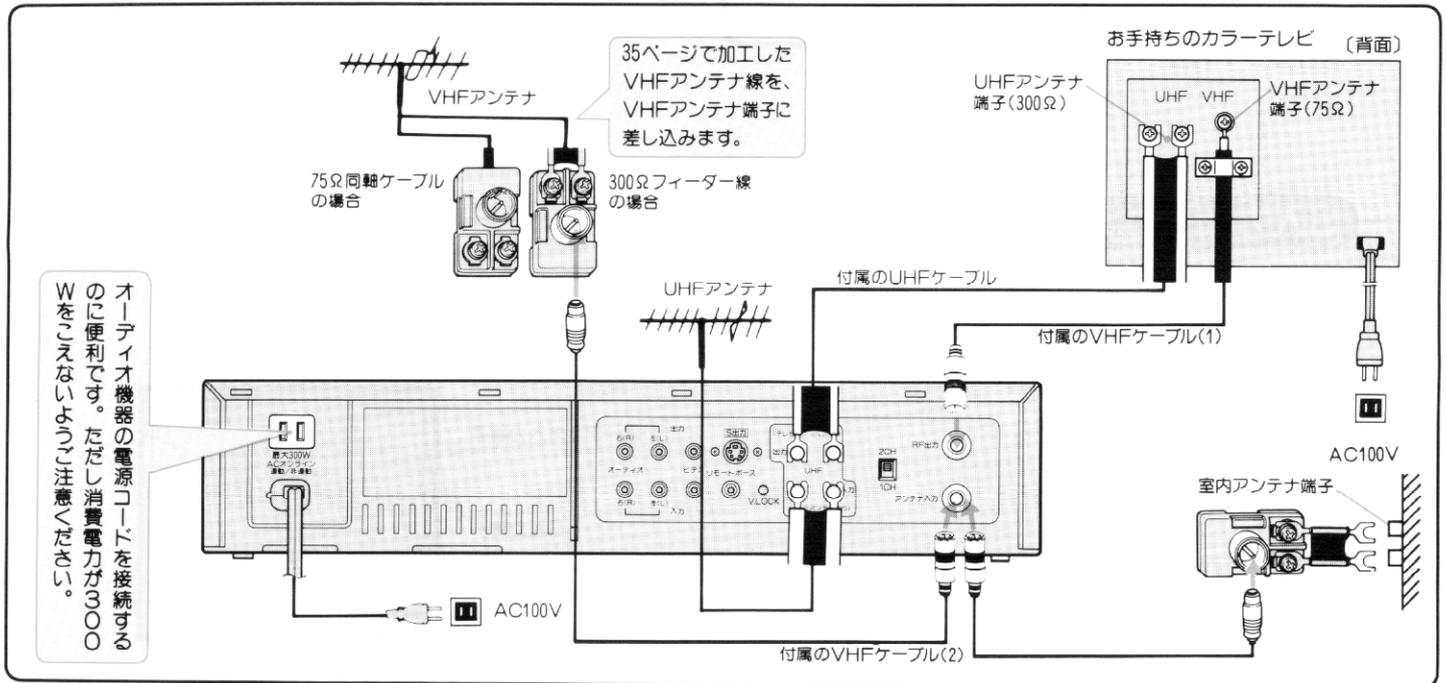
■電波の弱い地域では、ビデオを接続すると画質が悪くなる場合があります。

とくに電波の弱い地域では、ビデオを接続すると画質が悪くなる場合があります。これは、1本のアンテナをビデオとテレビにわけたためです。

美しい画像が得られない場合は、ブースター(市販の別売り)をご利用ください。

ブースターのご用命はご面倒でも、販売店、もしくは最寄りのビクターサービスセンターにお問い合わせください。

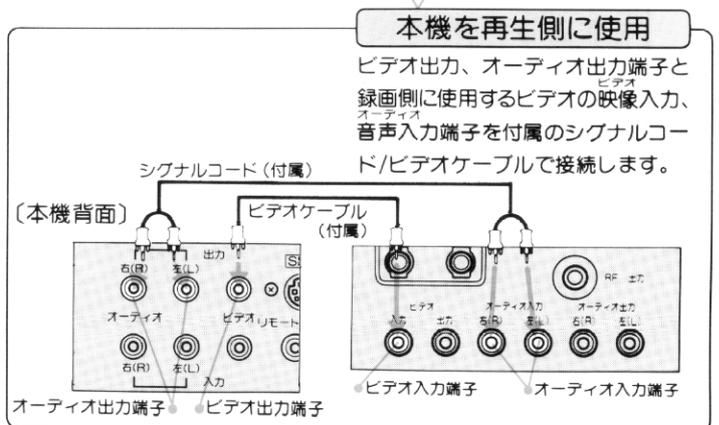
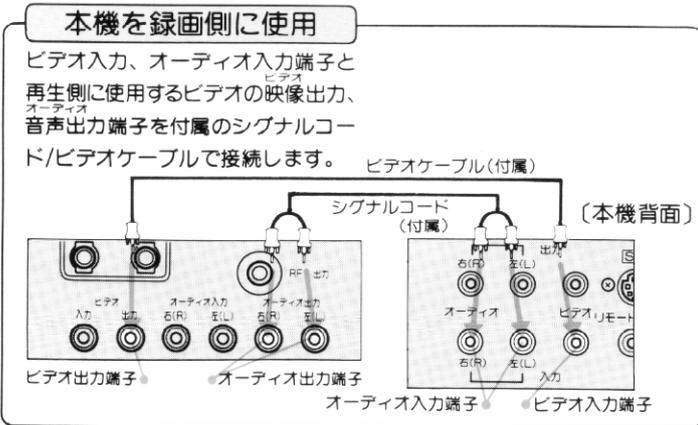
■付属のVHFケーブルとUHFケーブルを用意してください。



テープのコピー(ダビング)をしたいときは……

- ダビングをすると画質はもとのテープと比べると多少劣ります。
- ダビング時は標準モードを利用されることをおすすめします。

ダビング時には、エディットスイッチを「入」にしてください。



入力切換スイッチは「外部」にします。

接続のしかた〔高画質システムアップ型〕

S入/出力端子付ビデオ機器をご利用になると、本機の高解像度、高画質を十分に発揮することができます。

S入力端子付テレビ

S入力端子付テレビを本機に接続すると、より美しい映像でビデオ再生が楽しめます。

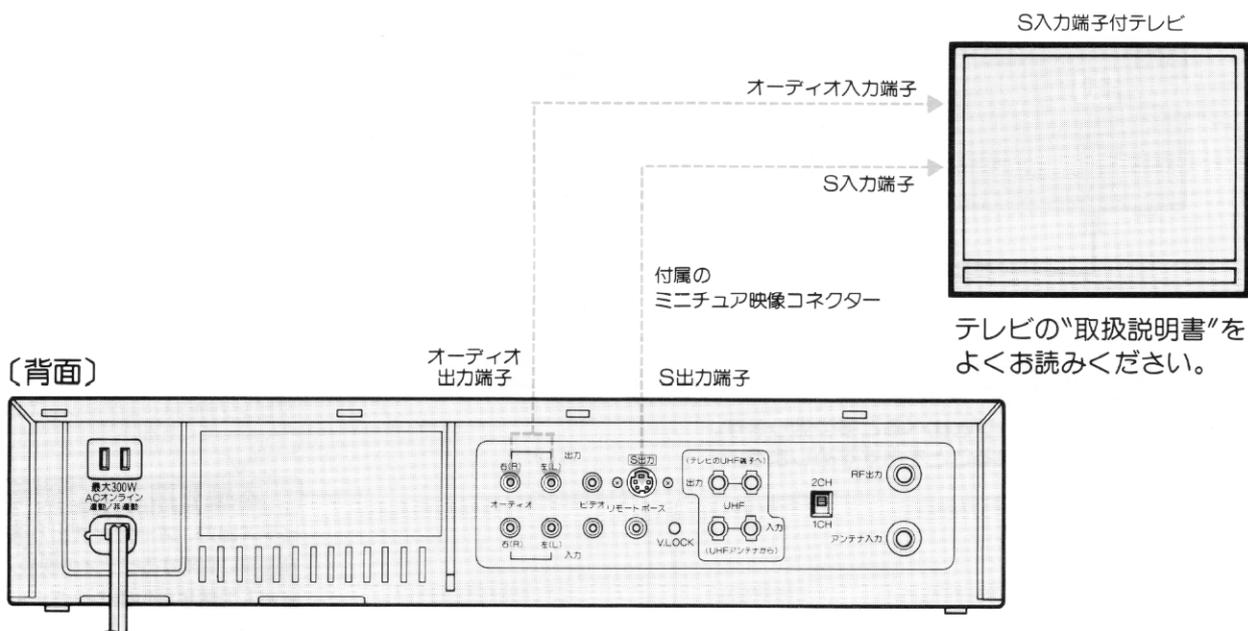
ビデオ再生用のセット

1 本機のS出力端子をテレビのS入力端子と接続します。

2 本機のオーディオ出力端子とテレビのオーディオ入力端子を接続します。

※本機で再生した映像/音声を美しい映像のままテレビで見ることができます。

S入力端子付テレビとの接続例



S-VHS方式のビデオカセット—どうしてダビング(テープコピー)する場合

本機とS-VHS方式のビデオをもう1台使ってダビングすると、S-VHSモードの美しい映像のままもう1本のテープを作ることができます。S-VHSモードでカメラ撮りしたオリジナルビデオなどは、この方法でのダビングをお勧めします。

ダビング時のセット

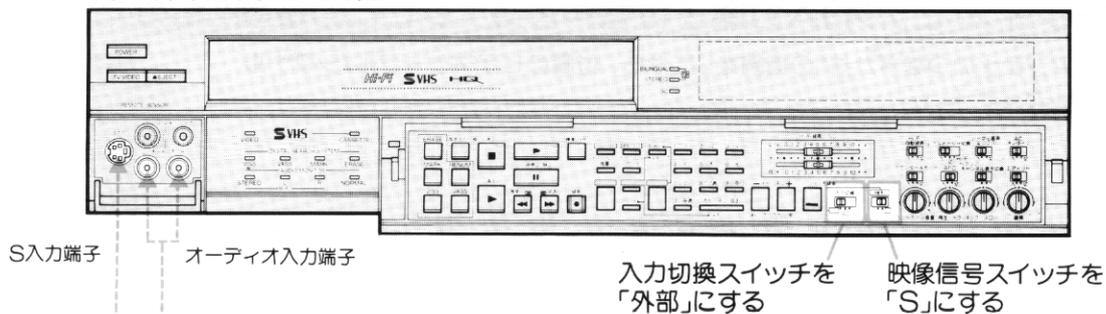
- 1** 録画側ビデオのS入力端子と再生側ビデオのS出力端子を接続します。
- 2** 録画側ビデオのオーディオ入力端子と再生側ビデオのオーディオ出力端子を接続します。
- 3** 録画側ビデオの入力切換スイッチを“外部入力(S入力)”にします。

ダビング時には……再生側のエディットスイッチを「入」にしてください。

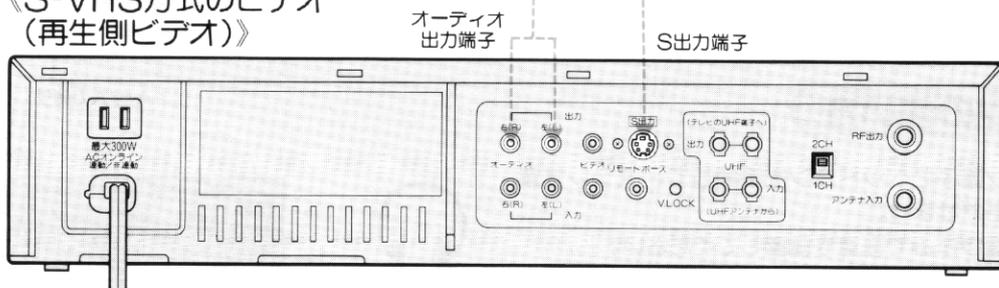
- ダビングをすると画質はもとのテープと比べると多少劣ります。
- ダビング時は標準モードを利用されることをおすすめします。

本機を録画側ビデオとして使用した場合の接続例

《本機(録画側ビデオ)》



《S-VHS方式のビデオ(再生側ビデオ)》



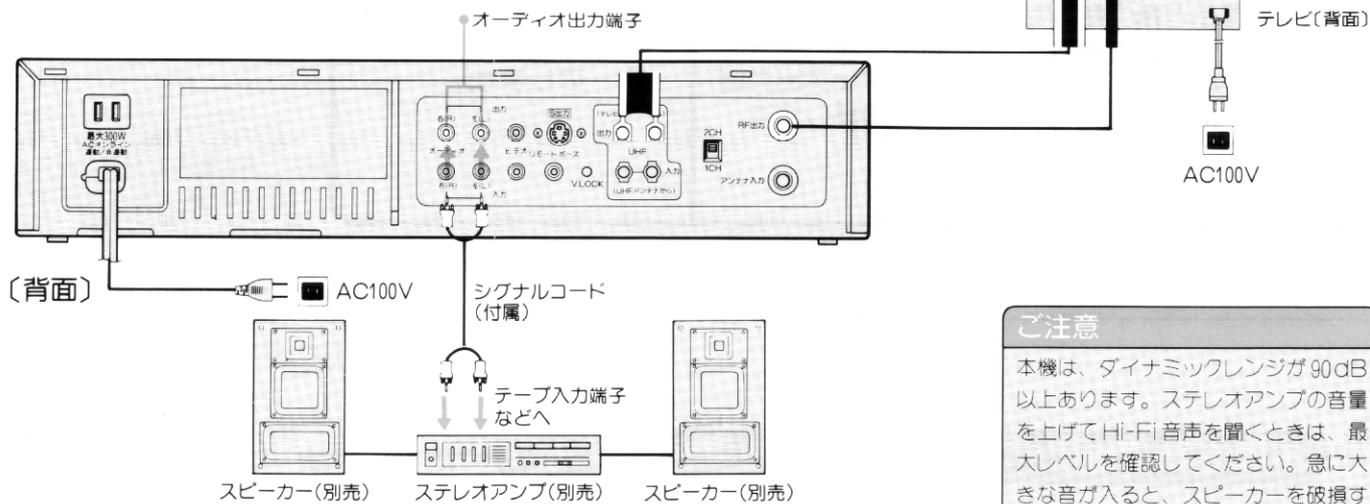
接続のしかた〔システムアップ型〕

ステレオ音声をお楽しみいただくために

本機のRF出力から出力される音声はモノラルです。本機でステレオ音声をお楽しみいただくには、ステレオ対応A/V入力端子付テレビ、ステレオアンプなどと接続してご使用になるか、ステレオヘッドホンを利用してください。接続の際は、他の機器の“取扱説明書”もあわせてお読みください。

一般のモノラルテレビやA/V入力端子のついていない音声多重テレビとステレオ機器との接続のしかた

一般のモノラルテレビで映像を見ながら音声をステレオ機器で聞くシステムです。なお、接続に際しては(L)・(R)をまちがえないようにしてください。35～36ページの“アンテナのつなぎかた”の接続をしてから、付属のシグナルコードなどで接続してください。

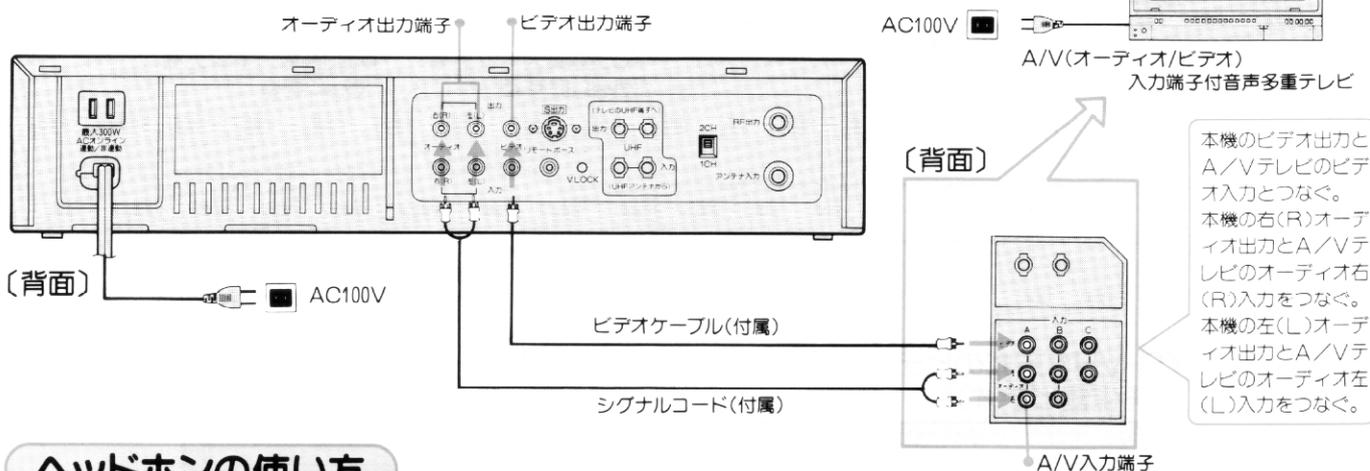


ご注意
本機は、ダイナミックレンジが90dB以上あります。ステレオアンプの音量を上げてHi-Fi音声を聞くときは、最大レベルを確認してください。急に大きな音が入ると、スピーカーを破損する危険があります。

ステレオアンプとの接続時は音声のL、Rをまちがえないよう注意してください。

A/V(オーディオ/ビデオ)入力端子付音声多重テレビとの接続のしかた

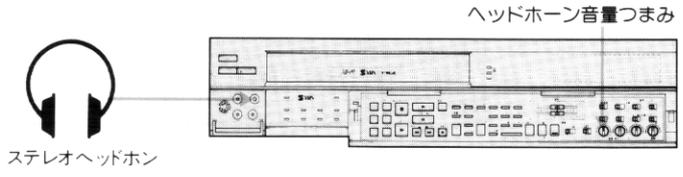
35～36ページの“アンテナのつなぎかた”の接続をしてから、付属のビデオケーブル/シグナルコードなどで接続してください。



本機のリビデオ出力とA/Vテレビのビデオ入力とつなぐ。本機の右(R)オーディオ出力とA/Vテレビのオーディオ右(R)入力をつなぐ。本機の左(L)オーディオ出力とA/Vテレビのオーディオ左(L)入力をつなぐ。

ヘッドホンの使い方

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して、ステレオ音声をお楽しみいただけます。ヘッドホン音量つまみで音量を調整してください。



チャンネル自動選局について

【お使いのカラーテレビと同じ受信チャンネル配置にしたいときは】
本機は1~16まであるポジション番号に放送しているチャンネルを自動選局し、自由に配置することができます。

- チャンネル数を各ポジション番号(1~16)にあらかじめ記憶し、チャンネル選局プラス/マイナスポタンまたはダイレクトボタンで呼び出すことができます。
- 9~10ページの「チャンネル選局のしかた」でのチャンネル数順にチャンネル選局をするときは変更する必要ありません。
- 受信チャンネル(番号/表示)変更後は、「チャンネル表示切換スイッチ」を動かさないでください。

準備

- 入力切換スイッチを「チューナー」にする

例として5のポジション番号に45チャンネルを合わせる場合

1 チャンネル表示 切換スイッチを 「ポジション」に する

チャンネル表示切換
リアル ● ● ポジション

*工場から出荷されるとき、あらかじめ1~16のポジションに各々ポジションと同数のチャンネルがセットされています。

2 チャンネル合わせ ボタンを押す

[Ch 01] 1

チャンネル 数表示 ポジション 番号表示

3 チャンネル選局 プラス/マイナ スポタンでポジ ション番号を セットする

[Ch 05] 5

4 希望するチャンネルをセットするとき

●セットの方法は2通りあります

サーチボタンでセットする

1 サーチボタンを 押す

[Ch 01] 5

点滅

2 希望するチャン ネル数を受信するま でサーチボタンを 何回か押す

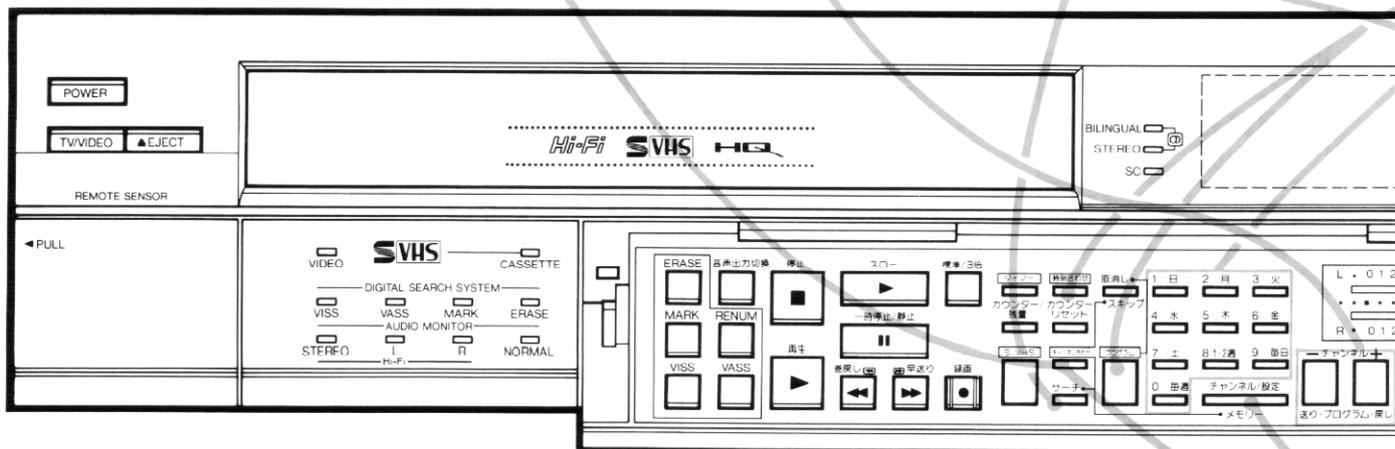
〈たとえば、1ch・3ch・4ch
…に放送しているチャン
ネル数があるとき〉
1度押すと1ch、もう一度
押すと3chというようにオ
ートサーチします。
押し続けると連続的にオ
ートサーチします。

[Ch 45] 5

点滅

〈1ch~62chの順にオート
サーチが放送しているチャ
ネル数をさがします〉

*オートサーチ中にサーチボタンを押すと、オートサーチは停止します。
*チャンネルサーチをするときは、(AFC)スイッチを「入」にしてください。



使わない(受信していない)チャンネルをスキップ(飛ばす)したいときは

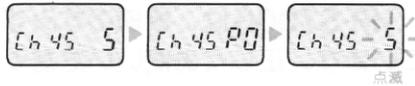
たとえば(1ch→2ch→3ch→4ch…)と記憶されているとき、2chをスキップすると(1ch→3ch→4ch…)とチャンネル選局できます。

①チャンネル合わせボタンを押す

②チャンネル選局プラス/マイナスボタンでスキップしたいポジション番号に合わせる
(点滅しているときはすでにスキップされています)

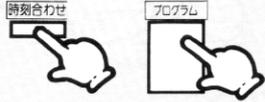
③取消し/スキップボタンを押す

④チャンネル合わせボタンを押す



●これでスキップ完了です。チャンネル選局プラス/マイナスボタンを押してもこのチャンネルは表示しません。

●セットしたチャンネルの画面が乱れるときは…時刻合わせ(微調整-) / プログラム(微調整+) ボタンで調整してください。

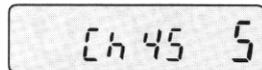
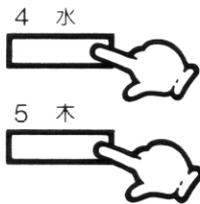


3~5を繰り返して行なうと他のポジション番号もセットできます

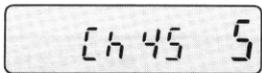
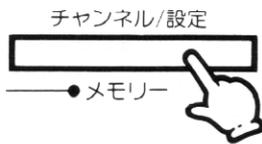
ダイレクトボタンでセットする

ダイレクトボタンで希望するチャンネル数(1~62ch)を押す

●たとえば45チャンネルの場合



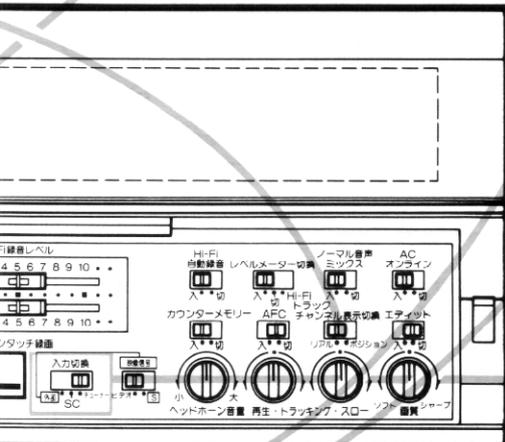
5 チャンネル/設定・メモリーボタンを押す



6 チャンネル合わせボタンを押す



7 通常の操作において表示する番号はポジション番号です



入力切替スイッチ

使用上のご注意

このビデオカセットーHR-S7000は、機械のすみずみまで精巧な技術が駆使されています。正しくお使いいただくために、つぎのことにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。

このビデオを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This video tape recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

■設置場所についてのご注意

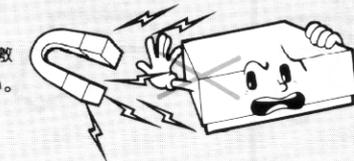
- 湿気やほこりの多いところに置かないでください。



- 直射日光が当たる場所やストーブの近くなど暑いところに置かないでください。



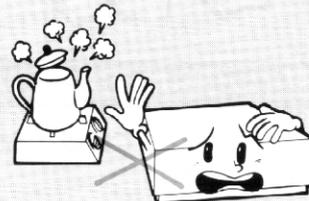
- 磁気の発生する場所、振動の激しいところに置かないでください。



- 極端に寒いところに置かないでください。



- 調理台の近くなど油煙や湯気が当るところに置かないでください。



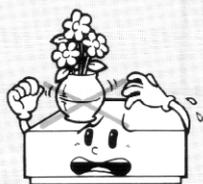
- じゅうたんやふとんなど、やわらかいものや、テコボコしたところの上に直接置いてご使用にならないでください。



■ご使用上のご注意

- ビデオの上にものをのせないでください。

- ビデオに水分が流れ込むような場所にはコップなどを置かないでください。



- キャビネットの通風孔をテーブルクロスなどでふさいだり、かぶせたままでお使いにならないでください。

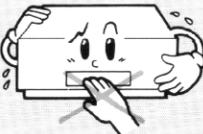


- ビデオの通風孔などから内部に金属や燃えやすいものなどを入れないようにご注意ください。

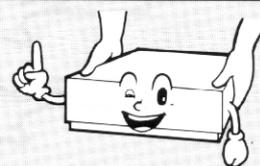


- 小さなお子様がカセットテープ挿入口から手を入れないようにご注意ください。けがをすることがあります。

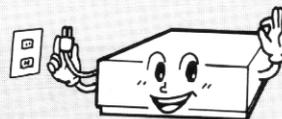
- 万一、手がさまれた際は差し込みプラグをコンセントから抜いて電気店にご連絡ください。無理に引き抜いたりしますと、けがをすることがあります。



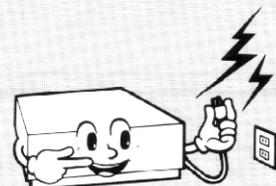
- ビデオを持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。また輸送のときはカセットをはずし、正しく梱包してください。



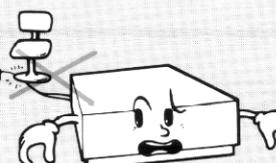
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。



- また、本機の動作中(再生中・記録中など)に電源コードを抜きますと、トラブルの原因となりますので電源コードを抜くときは必ず停止状態にしてから抜いてください。



- 雷が近いときは、早めにビデオの電源コードをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対に触れないようご注意ください。



- 電源コードに傷をつけないでください。火災、ろう電、感電の原因となります。電源コードが傷んだら、交換をご依頼ください。

■キャビネットについてのご注意

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、

乾いた布で仕上げてください。

- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- ビデオのキャビネットははずさないでください。内部に手を触れると危険なうえ、故障の原因となります。

内部の点検・調整は(お買上げ販売店に)ご依頼ください。

■アンテナを建てる時

- 妨害電波の影響を避けるため、交通頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお建てください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。なお、アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、〈お買上げ販売店〉に

相談ください。

- アンテナ線には、同軸ケーブルを使用しますと妨害電波の少ない良好な画像が得られます。

■アンテナの点検・交換

- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検・交換することを心がけてください。美しい画像でご覧になれます。特にばい煙の多い

所や潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みます。映りが悪くなったときは、〈お買上げ販売店〉にご相談ください。

■美しい画面をご覧いただくための点検のおすすめ

ビデオテープレコーダーは、カラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特にビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、い

つも美しい画面をご覧いただくためには使用環境(温度、湿度、ホコリ)等に左右されますが、およそ1,000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめいたします。

くわしくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

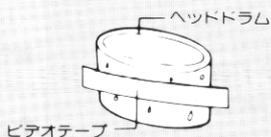
■つゆつきについて

■“つゆつき”とは

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつきます。この状態を“つゆつき”(露結または結露)といいます。

■“つゆつき”状態になると

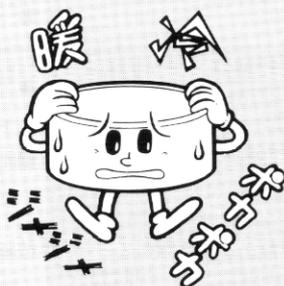
- ビデオの心臓部であるヘッドドラムのまわりに水滴がつくと、テープが貼りついて、せっかくのテープを傷めてしまいます。



■“つゆつき”は

こんなときおきます

- ビデオを冷たいところから、急に暖かいところに移動したとき。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの直接冷風のあたるところ。
- 湿気の多いところ。



■本機(HR-S7000)には“つゆつき”防止回路が内蔵されています。

“つゆつき”防止回路は、お部屋の温度に応じてヘッドドラムを自動的に温め、“つゆつき”現象を起こしにくくしています。

- この“つゆつき”防止回路は、電源プラグがコンセントに差し込んであれば、作動します。

●“つゆつき”防止回路動作中は、少ない消費電力ですが、ご旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

ご注意

■“つゆつき”防止回路は、コンセントに電源プラグを差し込んでも、すぐには動きません。

“つゆつき”防止回路は、電源プラグをコンセントに差し込んで、急激に水滴を蒸発させることができません。寒いところから暖かいお部屋に移動されたときなど、ビデオが“つ

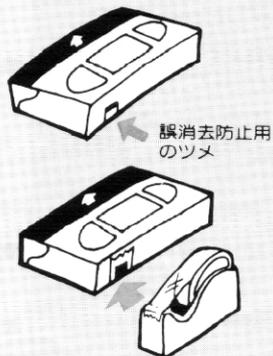
ゆつき”になりやすい状態にあるときは、電源プラグをコンセントに差し込んで本機前面の(POWER)ボタンを「OFF」にして、数時間ほど待ってご使用ください。

■ビデオカセットについて

- ビデオカセットは **SVHS / VHS** タイプをおつかいください。

- 録画済みテープに新しく録画するときは、前の画と音は自動的に消されながら記録されます。

- カセットには、誤消去防止用のツメがついています。消したくないカセットはツメを折っておくと安心です。また、ツメの折られているカセットで録画するときは、ツメの部分にセロハンテープを2重に貼っておつかいください。



- カセットは、うらがえしではつかえません。また、テープを走行させないで、カセットを何回も出し入れしないでください。

- 録画し終わったときや、再生したあとは、テープをはじめまで巻戻しておきましょう。

■ビデオカセットの保管上の注意

- 直射日光のあたる場所や、ストーブなどのそばは避けてください。

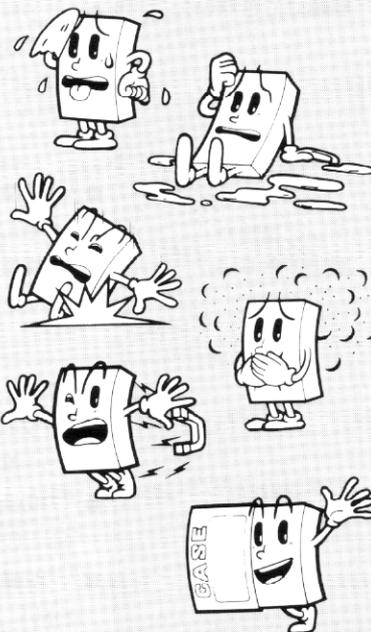
- 湿気やほこりの多いところは避けてください。

- 落としたり、強い振動、ショックをあたえないでください。

- 強い磁気の発生するところ(モーター、トランス、磁石など)での保管は避けてください。

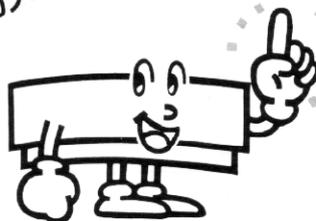
- ムラのある巻き取り状態はテープを傷めます。もう一度巻き直してください。

- カセットケースに入れて、立てて保管してください。



こんなときは

「おかしいな」と思ったら、修理に出す前に
次の点を確認してください。



症状	●原因 ■処置	頁	
電源が入らない／テープが止まる	オーディオ機器とビデオの電源が入らない	●ビデオの電源コードがはずれている ■電源コードをしっかりと差し込みます	・
	ビデオの電源が入らない	●タイマーボタンが「入」になっていませんか ■「切」にして TIMER 表示を消してください	・
	録画中にテープが巻きとれない	●一時停止／静止ボタンが押されていませんか ■再生ボタンを押してください	⑬
	巻戻し、早送りの途中でテープが止まる	●カウンターメモリースイッチが「入」になっていませんか ■一度カウンターメモリースイッチを「切」にし、巻戻しまたは早送りボタンを押してください	⑩
	巻戻し、早送りができない	●カセットが早送り、巻戻しを完了していませんか ■カセットを確認してください	・
録画ができない	録画ができない	●カセットテープは入っていますが ■カセットテープを正しく入れます ●カセットのツメはついていますが ■ツメのないカセットは、ツメの部分にセロハンテープを2重に貼ってください	⑦ ④④
	テレビ番組が録画できない	●入力切換スイッチが「外部」になっていませんか ■入力切換スイッチを「チューナー」にしてください	⑬
	カメラの録画ができない	●ビデオに、正しくカメラとカメラアダプターが接続されていますか ■もう一度確かめてください ●入力切換スイッチが「チューナー」、 <small>タイムリキャスト</small> 「S C」になっていませんか ■入力切換スイッチを「外部」にしてください	③③ ③④

症状	●原因 ■処置	頁	
録画ができない	サイマルキャスト記録ができない	●入力切換スイッチが「 <small>タイムリキャスト</small> S C」になっていませんか ●オーディオ入力端子にオーディオ機器が接続されていますか ■もう一度確かめて、正しくセットしてください	⑳
	タイマー録画ができない	●時計の時刻と録画時間は正しくセットされていますか ■もう一度確かめてください ●タイマーボタンは「切」になっていませんか ■「入」にしてください	④① ⑱
再生するとおかしい	テープはまわっているが、カセットの再生ができない	●テレビのチャンネルはビデオ専用チャンネル(1)または(2)になっていませんか ■(1)または(2)チャンネルにします	⑮
	シャトルサーチ、静止画再生時に、画面にノイズがでる	故障ではありません	⑮
	再生画面の一部にノイズが出る	●再生トラッキングつまみは合っていますか ■ゆっくりまわしてきれいになるように調整してください	⑮
	テレビはきれいにとつるが、再生するとザラザラした画面になったり、画が消えてしまう	●ヘッドにゴミがたまっているかもしれません ■ビデオのヘッドをクリーニングします。ごめんどうでもお買上の販売店か、お近くのビクターサービス窓口までご相談ください	・
Hi-Fi音声がおかしい	Hi-Fi音声トラックにテレビの音声が入らない	●入力切換スイッチが「 <small>タイムリキャスト</small> S C」になっていませんか ■「チューナー」にしてください	④ ⑬ ⑭
	Hi-Fi音声トラックの音が再生されない	●音声出力切換ボタンでHi-Fi音声を再生しない状態になっていませんか ■音声出力切換ボタンでHi-Fi音声を合わせてください	③ ⑮

症状	●原因 ■処置	頁	
Hi-Fi音声が おかしい	Hi-Fi音声トラックの音が飛ぶ	●再生トラッキングつまみは合っていますか ■ゆっくりまわしてきれいな音になるように調整してください ●記録時のレベル調整は適正でしたか ■記録時の音声録音レベルオーバーが原因です。レベルメーターがふりきれないように調整してください くわしくは14ページをご覧ください	⑮ ⑭
	レベルメーターがふれない	●レベルメーター切換スイッチは「切」になっていませんか ■「入」にしてください	⑭
テレビから「ビーツ」「ウーン」という音が出る	●カメラがテレビに近づきすぎていませんか ■テレビからカメラを離してください ●テレビのボリュームは大きくありませんか ■ボリュームをさげてください	③③	
時計合わせができない	■タイマーボタンを押して TIMER 表示を消してください	・	
記録、再生、早送り、巻戻し中にテープ走行音がする	●ビデオは、モーターや回転ヘッドをつかってテープに記録・再生をしていますので、使用中は走行音が発生しますが故障ではありません ■気になるときは、市販のラックなどに収納してご使用ください	・	
デジタルサーチシステムが正しく動作しない	●インデックスまたはアドレスのコードが近づきすぎていませんか ■多少離してマークしてください 近づきすぎた場合は一度消去(ERASE)してマークしなおしてください	⑳	
表示しているチャンネルを受信しない	●チャンネル表示切換スイッチが「ポジション」になっていませんか ■チャンネル数でチャンネル選択を行っているときは「リアル」に固定してください ポジション数で行なっているときはチャンネル合わせボタンを押すと、各ポジションのチャンネル数が確認できます	㉑ ㉒ ④① ④②	

症状	●原因 ■処置	頁
日本語と外国語がミックスされて聞こえる	■音声出力切換ボタンで聞きたい音声を選択してください ●ノーマル音声ミックススイッチが「入」になっていませんか ■「切」にしてください	⑮
S-VHSモードで録画できない	● SVHS マークのカセットが正しく入っていますが ■カセットを確かめてください ■S-VHSボタンで SVHS 表示を点灯させてください	⑦ ⑪ ⑫

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。

本機が正常に操作できなくなった場合は、前面の(POWER)ボタンを切って、電源コードをコンセントから一度抜いて、あらためてコンセントに差し込み、(POWER)ボタンを入れて、一度カセットを取り出し、カセットを確認してからあらためて操作してください。

保証とアフターサービス

■保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■保証期間について

保証期間は、お買上げ日より、1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

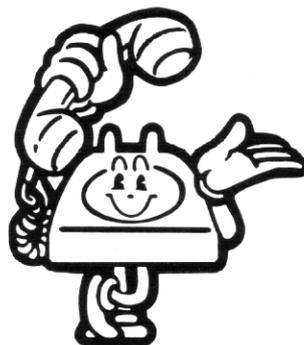
保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社はこのビデオカセットの補修用性能部品を製造打切り後最低8年保有しています。

■アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。



■修理を依頼される時は

- 1 まず、45～46ページの“こんなときは”の項をよくお読みのうえ、再度お調べください。
- 2 それでも具合の悪いときは、お買上げ販売店に次のことをお知らせください。

●ビクターハイファイビデオカセットHR-S7000

●お名前とおところ

●電話番号

●故障症状(詳しく)

■ビデオが異常のときは！

ビデオから異常な音や、煙がでるとき、また、画がうつらなくなってしまうときなどは、すぐに電源コードをコンセントから抜いてお買上げの販売店、あるいはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

関連機器

■コンパクトビデオカメラGZ-S5



■カメラアダプターCA-P26



■VHSビデオカセットテープ

■〈ダイナレック〉
スーパーHi-Fi
T-120SF (120分用)
T-60SF (60分用)

■〈ダイナレック〉
スーパーHG
T-160SH (160分用)
T-140SH (140分用)
T-120SH (120分用)
T-90SH (90分用)
T-60SH (60分用)
T-30SH (30分用)
T-20SH (20分用)

■〈ダイナレック〉
スーパーAV
T-160SA (160分用)
T-120SA (120分用)
T-60SA (60分用)
T-30SA (30分用)

■〈ダイナレック〉
プロフェッショナル
T-120PRO (120分用)
T-60PRO (60分用)
T-30PRO (30分用)



■SVHSビデオカセットテープ

ST-120 (120分用)
ST-60 (60分用)
ST-30 (30分用)



*VHSビクタービデオテープは3倍モード付きビデオにも使用できます。
*VHSビクタービデオテープはVHSマークのついた日立製作所・三菱電機・シャープ・赤井電機・松下電器産業・日本ビクター各社(順不同)製造のビデオにご使用になれます。

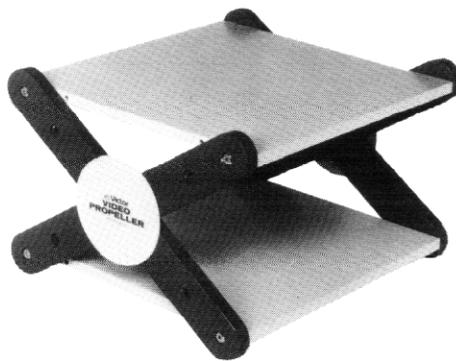
■ビデオプースターAT-VII



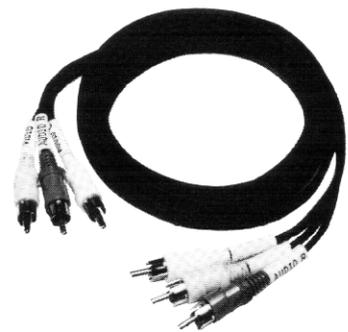
■ヘッドホンHP-CD1/BK/BU/RD



■ビデオラックVR-VI



■A/VケーブルVC-240-2



PLAYING A CASSETTE

The S-VHS or VHS mode recording is automatically detected and playback at a correct mode. The "SVHS" indicator lights at the S-VHS mode.

Preparation

- Select the "video" channel (1 or 2) or your TV set.

1 Correctly insert a recorded cassette; the POWER indicator lights.

2 Press the PLAY (再生) button. The video indication lights and play begins.

Selecting Desired Sound:

Use the AUDIO OUTPUT SELECTOR (音声出力切換) button and NORMAL/MIX (ノーマル音声ミックス) switch.

Noisy Picture/Sound:



Set the LEVEL METER SELECTOR (レベルメーター切換) switch to Hi-Fi Track (トラック).

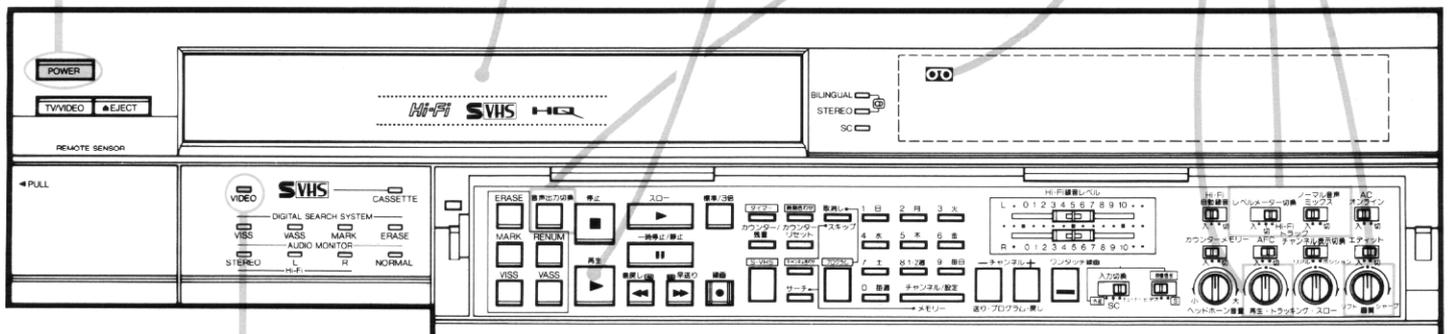
Turn the TRACKING (トラッキング) NORMAL (再生) control for maximum indication on the R level meter (ordinarily leave the knob at the center position).

Picture Sharpness:

Turn the SHARPNESS (画質) control for desired picture sharpness.

POWER indicator

VIDEO indicator



VIDEO lamp

RECORDING A TV PROGRAM

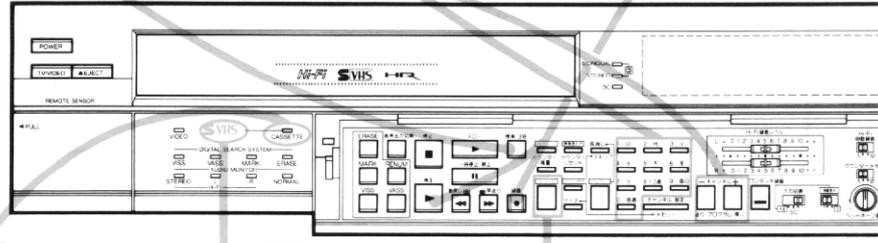
Preparation

- Correctly insert a cassette which has the erase protector tab present; the POWER indicator will light.
- Set input SELECTOR (入力切換) switch to TUNER (チューナー).
- Set ALC (Hi-Fi自動録音) switch to the ON (入) position.
- Set the tuner of your TV set to the "Video" channel (channel 1 or channel 2).
- Press the TV/VIDEO button. The VIDEO indicator lights.
- Set the AUDIO OUTPUT SELECTOR (音声出力切換) button and NORMAL/MIX (ノーマル音声ミックス) switch according to the desired sound.
- **S-VHS** and "CASSETTE" indicator light automatically, when a **S-VHS** cassette is loaded.
- It is necessary to press S-VHS button to record at VHS mode using **S-VHS** cassette.

1 Select the desired tape speed with the SP/EP (標準/3倍) button.

2 Select the channel to be recorded with the CHANNEL +BACK/-NEXT (チャンネル+戻し/送り) buttons or 10-keys.

3 Press the REC (録画) button to begin recording. When using remote hold REC button depressed and press PLAY (再生) button.



S-VHS cassette inserted indicator

S-VHS indicator

S-VHS button

TIMER RECORDING

For example, it is Monday 10:10 AM and you want to record a program to be broadcast on Channel 4 Wednesday between 8:00 and 9:50 PM (between 20:00 and 21:50 on the 24-hour digital indicator.)



Preparation

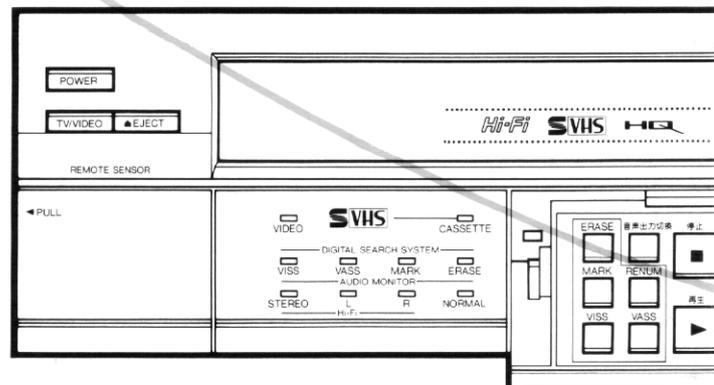
- Setting the present time.
- Correctly insert a cassette which has the erase protector tab present; the POWER indicator will light.
- Set the Input Selector (入力切換) switch to Tuner (チューナー).
- Adjust the Hi-Fi recording level (Hi-Fi録音レベル) or set ALC (Hi-Fi自動録音) switch to the ON (入) position.

1 Press the PROGRAM (プログラム) button.

2 Select the Program Number (1 to 8) with the 10-keys. Then press the CHANNEL - NEXT (チャンネル送り) button.

3 Select the recording day with the 10-keys and 1st or 2nd week with the 1ST/2ND (1・2週) button. For daily, press DAILY; (毎日) for weekly, press REPEAT (毎週). Then again press the CHANNEL - NEXT button.

4



TV sound is recorded on both the Hi-Fi and Normal audio tracks.
The TV picture is recorded on the video track.

To change the recording channel, first press the PAUSE/STILL (一時停止/静止) button. Resume recording by pressing the PLAY (再生) button.

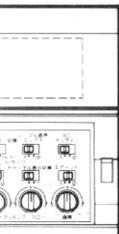
TO RECORD WHILE WATCHING ANOTHER

- 1 While recording is in progress, press the TV/VIDEO button. The VIDEO indication extinguishes.
- 2 Set your TV set to the desired channel to be watched.

MANUAL SOUND LEVEL ADJUSTMENT

The Hi-Fi recording level can be adjusted manually.

- 1 Set the ALC switch to the OFF (切) position.
- 2 Set the Level Meter Selector (レベルメーター切換) switch to ON (入).
- 3 Adjust the AUDIO Hi-Fi REC LEVEL (Hi-Fi録音レベル) controls while observing the level meter indications. Generally set to where one of the red indicators lights.



Set the recording start hour and minute with the 10-keys; again press the CHANNEL - NEXT button.

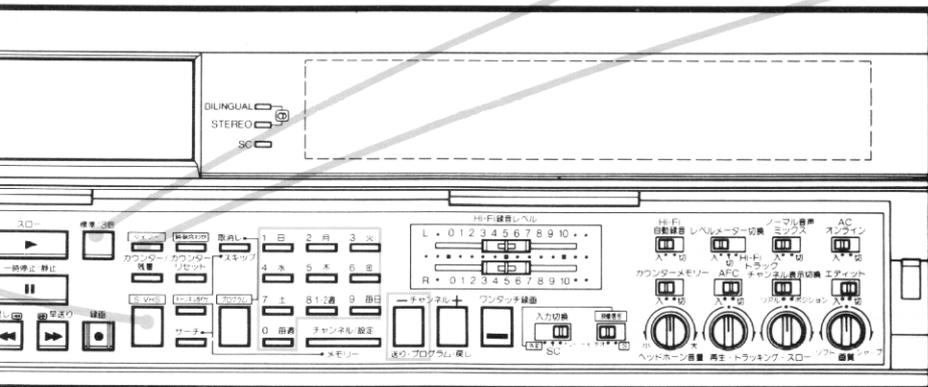
5 Set the recording stop hour and minute with the 10-keys; again press the CHANNEL - NEXT button.

6 Set the recording channel with the 10-keys; again press the CHANNEL - NEXT button.

7 Select recording with the SP/EP (標準/3倍) button.

8 To set up other programs, press the CHANNEL - NEXT button and repeat the steps for the next vacant program number.

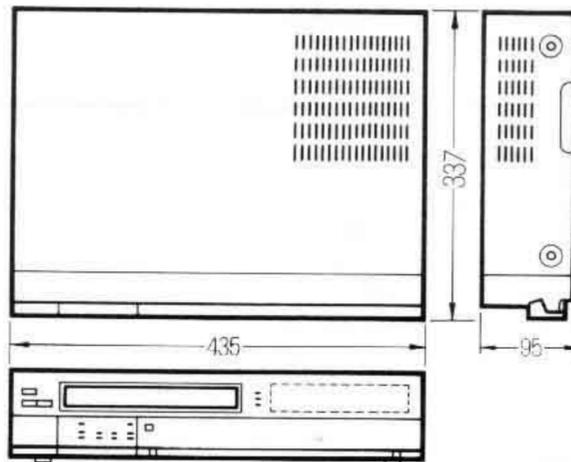
9 After setting up all desired programs, press the TIMER (タイマー) button. The clock display is returned, indications for TIMER and Program Numbers light.



- If a set up Program Number is not lighted, there was an error in setting. Press the PROGRAM (プログラム) button and check.
- If no programs have been set up correctly, the TIMER indication flashes. Again check the settings.

仕様

- 録画方式：回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式
色信号低域変換直接記録方式 **SVHS**規格
- ハイファイ録音方式：ステレオハイファイVHS規格 深層記録方式
- 音声トラック：ハイファイ音声トラック…2チャンネル
ノーマル音声トラック…1チャンネル
- 映像信号：NTSC日本標準信号および
NTSCに準じたYCセパレート信号
- 使用カセット：**SVHS**または**VHS**マークのついたビデオカセット
- テープ速度：標準モード 33.4mm/sec
3倍モード 11.1mm/sec
- 最大録画再生時間：標準モード 2時間40分(T-160使用時)
3倍モード 8時間(T-160使用時)
- 受信チャンネル：VHF 1~12チャンネル
UHF 13~62チャンネル
- 受信方式：インターキャリア方式
- 映像入力：0.5~2.0Vp-p(75Ω不平衡)
- 映像出力：1.0Vp-p(75Ω不平衡)
- 音声入力：外部 -8dBs(50KΩ)
- 音声出力：-6dBs(1KΩ)
- ヘッドホン端子：8Ω~1KΩ
- 〈ハイファイ音声特性〉
- 音声周波数特性：20~20,000Hz
- ダイナミックレンジ：90dB以上
- ワウ・フラッター：0.005% WRMS以下
- チャンネル：60dB以上セパレーション
- 電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：40W(タイマー・予熱時10W)
- 外形寸法：435(幅)×95(高さ)×337(奥行)mm
- 重量：8.6kg
- 許容動作温度：+5°C~+40°C
- 許容相対湿度：35%~80%
- 許容保存温度：-20°C~+60°C
- 付属品：VHFケーブル(1)×1(1.5m)
VHFケーブル(2)×1(1.5m)
UHFケーブル×1(1.5m)
シグナルコード(2芯)×1(1.5m)
ビデオケーブル(1芯)×1(1.5m)
Sケーブル×1(1.5m)
アンテナ変換器×1
ワイヤレスリモコン×1
乾電池(単四)×2



*仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。



ビデオ事業部

所在地 〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)453-1111(代表)

お問合せ先 ビクターインフォメーションセンター

〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号 電話 (03)580-2861